はじめに

応用講座で勉強を始める小学校四年生のみなさま

これから勉強を始めるにあたって、大切なことをまとめておきました。

大事なのは、「今どれぐらいできているか」ではなく、これから勉強をはじめて「どれぐらい理解できるようになるか」です。今より一歩でも前に進めるよう一緒にがんばっていきましょうね。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

勉強方法

文章問題

①読む

——まず文章を読みましょう。

↓

②線を引く

——大切だと思うところにチェックをしましょう。

↓

③問題を解く

——文章の後についてある問題を解きましょう。

↓

④文章の解説動画を見る

——わからないところがあれば、ノートをとっておきましょう。

※③と④は入れかわってもかまいません。

↓

⑤問題の解説動画を見る

——丸つけをしながら、まちがったところを理解しましょう。

（授業動画は《文章（本文）の解説 → 問題の解説》の順で展開されているので、①②の段階で難しく思うのであれば、まず④の解説を見てから問題を解いてください。その後、問題を解いてみましょう。）

↓

⑥復習

——文章を音読し、意味のわからないところがないか確認。

——また、まちがった問題、正解していたけれどよくわかっていなかった問題をもどって確認しましょう。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

知識問題

①知識の解説動画を見る

――問題を解く前に必ずチャプターーの解説を見てください。

――まちがった考え方で解いてしまうと、まちがった考え方のクセがついてしまうので、その前に動画で正しい考え方を理解してから解きましょう。

←

②問題を解く

――考え方を身につけた後に、問題を解いてみましょう。

←

③問題の解説動画を見る

――丸つけをしながら、まちがった問題の考え方を理解していきましょう。

←

④復習

――まちがった問題をしっかり見直し、やり直しましょう。自分の考え方がまちがっていないか確認したり、覚えないと解けないところは暗記したりしてください。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目次

第一講　文学的文章①……p.5
第二講　文学的文章②……p.12
第三講　説明的文章①……p.20
第四講　説明的文章②……p.27
第五講　文学的文章③……p.36
第六講　文学的文章④……p.43
第七講　説明的文章③……p.52
第八講　説明的文章④……p.57
第九講　文学的文章⑤……p.65
第十講　文学的文章⑥……p.74
第十一講　説明的文章⑤……p.82
第十二講　説明的文章⑥……p.88
第十三講　文学的文章⑦……p.97
第十四講　文学的文章⑧……p.103
第十五講　詩……p.108
第十六講　文の組み立て……p.116
第十七講　ことば……p.123
第十八講　漢字……p.130
第十九講　類義語・対義語……p.137
第二十講　熟語の組み立て……p.143
第二十一講　国語辞典・漢和辞典の使い方……p.147

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講・文学的文章①

物語文などの文章を読むときには、場面の様子をつかむことが大切です。

①登場人物　②場所
③時　　　　④できごと

右の①～④をしっかりおさえ、場面の様子を思いえがきましょう。そして、①～④に注目しながら、場面のうつり変わりを見分けましょう。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

十一月のすえ、ぼくは花崎（はなさき）神社のお祭りに出かけた。

このお祭りは、熊手市（くまでいち）ともよばれている。おかめや、えびす、大黒（だいこく）、大判（おおばん）や小判を熊手にとりつけて売っているのだ。

熊手なんていう道具は、今のぼくたちの家では使っていない。むかしは、落葉（おちば）をかきよせたりするのに、なくてはならない道具だったのだそうだ。

その熊手に、おかめや、えびすや、小判がついているのは、幸せやお金を、かき集められますようにという、おまじないなのだそうだ。

でも、ぼくは、熊手なんかには興味（きょうみ）がない。それより、熊手といっしょにならんでいるおもちゃ屋や、ゲーム屋、それから、サーカスや、見世物（みせもの）を見たいと思って、出かけたのだ。

ぼくが出かけたのは三時ごろだったけれど、神社のまわりは、もう、人でいっぱいだった。

おとなもおおぜいいたけれど、子どももそれに負けないぐらいおおぜいいた。

こんなにおおぜい子どもがいるなら、ぼくの知っている子どもがひとりぐらいいたっていいと思うのに、ひとりも見つからない。

ぼくは、あたりをきょろきょろ見回しながら、人波の中を歩いていった。

（大石真（おおいしまこと）『くいしんぼ行進曲』）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　この文章の「時」はいつごろですか。それがわかることばを、文中から二つ書きぬきなさい。

問二　「ぼく」はどこに出かけたのですか。

問三　――線部「熊手」について、次の問いに答えなさい。

(1)　むかしは、何のために使われていたのですか。

(2)　このお祭りでは何のために売られているのですか。次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□□□□□をかき集められますようにという、□□□□□のため。

問四　お祭りの様子としてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　「ぼく」の知っている子どもがおおぜいいた。

イ　おとなも子どももおおぜいいた。

ウ　子どもばかりでおとなは少なかった。

エ　おとなばかりで子どもは少なかった。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

〈少年は生まれて初めて一人でバスに乗り、入院中の母親のお見舞いに病院に行った。毎日バスに乗って病院に行ったが、二冊目の回数券を使い切っても、母親は退院できそうになかった。〉

「定期券にしなくていい？」

「なんだ、おまえ、そんなのも知ってるのか」

「そっちのほうが回数券より安いんでしょ？」

定期券は一カ月、三カ月、六カ月の三種類ある。父がどれを選ぶのか、知りたくて、知りたくなくて、「定期って長いほうが得なんだよね」と言った。

「ほんと、よく知ってるんだなあ」父はまたおどけて笑い、「まあ、五年生なんだもんな」とうなずいた。

「……何カ月のにする？」

「お金のことはアレだけど……回数券、買っとけ」

父はそう答えたあと、「①やっぱり三冊ぐらい買っとくか」と付け加えた。

次の日、バスに乗り込んだ少年は前のほうの席を選び、運転席をそっと覗き込んだ。あのひとだ、とわかると、胸が＊１すぼまった。

初めてバスに一人で乗った日に叱られた運転手だった。その後も何度か、同じ運転手のバスに乗った。まだ二冊目の回数券を使いはじめたばかりの頃、整理券を指に巻きつけて丸めたまま運賃箱に入れたら、「数字が見えないとだめだよ」と言われた。叱る口調ではなかったが、それ以来、あのひとのバスに乗るのが怖くなった。たとえなにも言われなくても、運賃箱に回数券と整理券を入れてバスを降りるとき、いつもムスッとしているように見える。嫌だなあ、運が悪いなあ、と思ったが、回数券を買わないわけにはいかない。『大学病院前』でバスを降りるとき、「回数券、ください」と声をかけた。

運転手は「早めに言ってくれないと」と顔をしかめ、足元に置いたカバンから回数券を出した。制服の胸の名札が見えた。「河野」と書いてあった。

「子ども用のでいいの？」

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「……はい」

「いくらのやつ？」

「……百二十円の」

河野さんは「だから、そういうのも先に言わないと、後ろつっかえてるだろ」とぶっきらぼうに言って、一冊差し出した。「千二百円と、今日のぶん、運賃箱に入れて」

「あの……すみません、三冊……すみません……」

「三冊も？」

「はい……すみません……」

②大きくため息をついた河野さんは、「ちょっと、後ろのお客さん先にするから」と少年に脇にどくよう顎を振った。

少年は頬を赤くして、他の客が全員降りるのを待った。お父さん、お母さん、お父さん、お母さん、と心の中で両親を交互に呼んだ。助けて、助けて、助けて……と訴えた。

客が降りたあと、河野さんはまたカバンを探り、追加の二冊を少年に差し出した。

代金を運賃箱に入れると、「かよってるの？」と、さっきよりさらにぶっきらぼうに訊かれた。「病院、かようんだったら、定期のほうが安いぞ」

わかっている、そんなの、言われなくたって。

「……お見舞い、だから」

かぼそい声で応え、そのまま、□ *2ステップを下りて外に出た。全然とんちんかんな答え方をしていたことに気づいたのは、バスが走り去ってから、だった。

（重松清『バスに乗って』）

*1すぼまった＝しぼんだ。

*2ステップ＝バスや電車などの出入り口の階段。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　この文章を時間のうつり変(か)わりによって二つに分けた場合、二つ目の場面はどこからですか。二つ目の場面の初めの三字を文中から書きぬきなさい。

問二　――線①「やっぱり三冊ぐらい買っとくか」とありますが、この発言は、どんなことを意味していますか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　回数券を三冊使い終わるときに母は退院するということ
イ　母の退院とは関係(かんけい)なく回数券が必要(ひつよう)だということ
ウ　母はしばらく退院できそうにないということ
エ　母はもうすぐ退院するということ

問三　――線②「大きくため息をついた」とありますが、このときの河野さんの気持ちとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　聞きたいことが全部わかって、ほっとする気持ち
イ　なぜ定期券を買わないのかと、不思議(ふしぎ)に思う気持ち
ウ　要(よう)りょうの悪い少年に対していらいらする気持ち
エ　何度もあやまる少年をかわいそうだと思う気持ち

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　□にあてはまることばとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　はずむように　**イ**　逃（に）げるように
ウ　のんびりと　**エ**　力強く

□

問五　回数券の買い方について河野さんにいろいろと注意された少年が、バスの中で、つらい気持ちを一生けんめいにこらえていることがもっともよくわかる段落（だんらく）をさがし、その初めの三字を書きぬきなさい。

□□□

問六　この日までのやりとりを通して、少年は河野さんをどんな人だと思いましたか。次の□にあてはまることばを文中から六字で書きぬきなさい。

ムスッとしていて、□□□□□□な怖い人

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講・文学的文章②

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

買い足した回数券の三冊目が――もうすぐ終わる。

少年は父に「迎えに来て」とねだるようになった。車で通勤している父に、会社帰りに病院に寄ってもらって一緒に帰れば、回数券を使わずにすむ。

「今日は残業で遅くなるんだけどな」と父が言っても、「いい、待ってるから」とねばった。母から看護師さんに頼んでもらって、面会時間の過ぎたあとも病室で父を待つ日もあった。

それでも、行きのバスで回数券は一枚ずつ減っていく。最後から二枚目の回数券を――今日、使った。あとは表紙を兼ねた十一枚目の券だけだ。

①明日からお小遣いでバスに乗ることにした。毎月のお小遣いは千円だから、あとしばらくはだいじょうぶだろう。

ところが、迎えに来てくれるはずの父から、病院のナースステーションに電話が入った。

「今日はどうしても抜けられない仕事が入っちゃったから、一人でバスで帰って、って」

看護師さんから伝言を聞くと、泣きだしそうになってしまった。今日は財布を持って来ていない。回数券を使わなければ、家に帰れない。

母の前では涙をこらえた。病院前のバス停のベンチに座っているときも、必死に唇を噛んで我慢した。でも、バスに乗り込み、最初は混み合っていた車内が少しずつ空いてくると、急に悲しみが胸に込み上げてきた。シートに座る。②窓から見えるきれいな真ん丸の月が、じわじわとにじみ、揺れはじめた。座ったままうずくまるような格好で泣いた。バ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

スの重いエンジンの音に紛らせて、うめき声を漏らしながら泣きじゃくった。

『本町一丁目』が近づいてきた。顔を上げると、車内には他の客は誰もいなかった。降車ボタンを押して、＊1手の甲で涙をぬぐいながら席を立ち、ウインドブレーカーのポケットから回数券の最後の一枚を取り出した。

バスが停まる。運賃箱の前まで来ると、運転手が河野さんだと気づいた。それでまた、悲しみがつのった。こんなひとに最後の回数券を渡したくない。

整理券を運賃箱に先に入れ、回数券をつづけて入れようとしたとき、とうとう泣き声が出てしまった。

「どうした？」と河野さんが訊いた。「なんで泣いてるの？」――ぶっきらぼうではない言い方をされたのは初めてだったから、逆に涙が止まらなくなってしまった。

「財布、落としちゃったのか？」

泣きながらかぶり＊2を振って、回数券を見せた。

じゃあ早く入れなさい――とは、言われなかった。

河野さんは「どうした？」ともう一度訊いた。

その声にすうっと手を引かれるように、③少年は嗚咽＊3交じりに、回数券を使いたくないんだと伝えた。母のこともしゃべった。新しい回数券を買うと、そのぶん、母の退院の日が遠ざかってしまう。ごめんなさい、ごめんなさい、と手の甲で目元を覆った。警察に捕まってもいいから、この回数券、ぼくにください、と言った。

④河野さんはなにも言わなかった。かわりに、小銭が運賃箱に落ちる音が聞こえた。目元から手の甲をはずすと、整理券と一緒に百二十円、箱に入っていた。もう前に向き直っていた河野さんは、少年を振り向かずに、「早く降りて」と言った。「次のバス停でお客さんが待ってるんだから、早く」――声はまた、ぶっきらぼうになっていた。

（重松清『バスに乗って』）

＊1手の甲＝手のひらの反対側で、指のつけ根から手首までの部分。

＊2かぶり＝頭。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

＊３嗚咽＝声をつまらせて泣くこと。

問一　――線①「明日からお小遣いでバスに乗ることにした」とありますが、なぜ、少年は最後（十一枚目）の回数券を使いたくないのですか。

問二　――線②「窓から見えるきれいな真ん丸の月が、じわじわとにじみ、揺れはじめた」は、どんな様子を表現（ひょうげん）したものですか。もっともよいものを次のうちから選（えら）び、記号で答えなさい。

ア　雨がぽつぽつとふり出した様子

イ　バスが揺れながら走っている様子

ウ　少年の目に涙がだんだんとたまってきた様子

エ　きれいな月に雲が少しずつかかりはじめた様子

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　――線③「少年は嗚咽交じりに、回数券を使いたくないんだと伝えた」について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1)　少年が回数券を使いたくない理由を河野さんに話したのはなぜですか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　正直に話さないと、河野さんにおこられると思ったから。

イ　正直に話せば、回数券を出さなくてすむと思ったから。

ウ　河野さんは顔なじみなので、わかってくれると思ったから。

エ　河野さんが初めてぶっきらぼうではない言い方で声をかけてくれたから。

(2)　回数券を使いたくない理由を少年から聞いた河野さんは、どうしましたか。

問四　――線④「河野さんはなにも言わなかった」とありますが、このときの河野さんの気持ちを説明したものとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　入院中の母親に早く治ってほしいと願っている少年の気持ちを理解した。

イ　少年のことばや様子におどろいて、どうしたらよいのかわからなかった。

ウ　バスに乗ったのだから、回数券を運賃箱に入れて、早くバスを降りてほしいと思った。

エ　バスに乗ったにもかかわらず、回数券を出そうとしない少年にはらが立った。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

次の日から、少年はお小遣いでバスに乗った。お金がなくなるか「回数券まだあるのか？」と父に訊かれるまでは知らん顔しているつもりだったが、①その心配は要らなかった。

三日目に病室に入ると、母はベッドに起き上がって、父と笑いながらしゃべっていた。会社を抜けてきたという父は、少年を振り向いてうれしそうに言った。

「お母さん、あさって退院だぞ」

退院の日、母は看護師さんから花束をもらった。車で少年と一緒に迎えに来た父も、「どうせ家に帰るのに」と母に笑われながら、大きな花束をプレゼントした。

帰り道、「ぼく、バスで帰っていい？」と訊くと、両親は②きょとんとした顔になったが、「病院からバスに乗るのもこれで最後だもんなあ」「よくがんばったよね、寂しかったでしょ？　ありがとう」と笑って許してくれた。

「帰り、ひょっとしたら、ちょっと遅くなるかもしれないけど、いい？　いいでしょ？　ね、いいでしょ？」

両手で拝んで頼むと、母は「晩ごはんまでには帰ってきなさいよ」とうなずき、父は「そうだぞ、今夜はお寿司とるからな、パーティーだぞ」と笑った。

バス停に立って、河野さんの運転するバスが来るのを待った。バスが停まると、降り口のドアに駆け寄って、その場でジャンプしながら運転席の様子を確かめる。

③何便もやり過ごして、陽が暮れてきて、やっぱりだめかなあ、とあきらめかけた頃——やっと河野さんのバスが来た。間違いない。運転席にいるのは確かに河野さんだ。

車内は混み合っていたので、走っているときに河

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

野さんに近づくことはできなかった。それでもいい。通路を歩くのはバスが停まってから。整理券は丸めてはいけない。

　次は本町一丁目、本町一丁目……と＊アナウンスが聞こえると、降車ボタンを押した。ゆっくりと、人差し指をピンと伸ばして。

　バスが停まる。通路を進む。河野さんはいつものように不機嫌な様子で運賃箱を横目で見ていた。

　目は合わない。それがちょっと残念で、でも河野さんはいつもこうなんだもんな、と思い直して、整理券と回数券の最後の一枚を入れた。

　降りるときには早くしなければいけない。順番を待っているひともいるし、次のバス停で待っているひともいる。

　だから、④少年はなにも言わない。回数券に書いた「ありがとうございました」にあとで気づいてくれるかな、気づいてくれるといいな、と思いながら、ステップを下りた。

　バスが走り去ったあと、空を見上げた。西のほうに陽が残っていた。どこかから聞こえる「ごはんできたよお」のお母さんの声に応えるように、少年は歩きだす。

　⑤何歩か進んで振り向くと、車内灯の明かりがついたバスが通りの先に小さく見えた。やがてバスは交差点をゆっくりと曲がって、消えた。

（重松清『バスに乗って』）

＊アナウンス＝知らせること。放送。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「その心配は要らなかった」とありますが、少年がバス代や回数券の心配をする必要がなくなったのは、なぜですか。

問二　――線②「きょとんとした顔」とは、どんな顔ですか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　おどろいた顔　　イ　楽しそうな顔
ウ　残念そうな顔　　エ　おこった顔

問三　――線③「何便もやり過ごして」とありますが、少年がバスを何便もやり過ごしたのはなぜですか。

問四　少年は、一人でバスに乗るようになってから、バスを乗り降りするときのマナーを学びました。少年が学んだ、バスを乗り降りするときのマナーが書かれている文を文中から三つさがし、書きぬきなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　――線④「少年はなにも言わない」とありますが、少年が河野さんにお礼を言わなかったのは、なぜですか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　回数券に「ありがとうございました」と書いたので、もう十分お礼を伝えたと思ったから。

イ　口で言うよりも、回数券に「ありがとうございました」と書いたほうが、はっきり気持ちが伝わると思ったから。

ウ　早く降りないと、他（ほか）のお客さんや河野さんにめいわくをかけてしまうから。

エ　いつものように不機嫌な様子の河野さんを見て、声をかける勇気（ゆうき）がなくなったから。

問六　――線⑤「何歩か進んで振り向くと……ゆっくりと曲がって、消えた」とありますが、このときの少年の気持ちとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　バスの中で河野さんと目が合わず、お礼を口で言えなかったことを残念に思う気持ち

イ　河野さんに自分なりにお礼を伝えることができて、満足（まんぞく）した気持ち

ウ　もう河野さんにおこられることもないと思い、すっきりした気持ち

エ　家に帰るのが遅くなってしまい、親におこられるかもしれないと心配する気持ち

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講 ● 説明的文章①

◆「こそあどことば」と「つなぎことば」

(1) こそあどことば

「これ」「それ」などの、物やことがらを指ししめすことばを「こそあどことば」といいます。説明文などでは、「こそあどことば」を使って、同じことばを何度もくり返す必要がないように書かれています。ですから、文章の内容を正しく読み取るためには、「こそあどことば」の指ししめす内容を正確にとらえる必要があります。

○「ぼくは、春休みに新かん線に乗って仙台に行った。作文の時間に、春休みに新かん線に乗って仙台に行ったことを書いた。」

↓

○「ぼくは、春休みに新かん線に乗って仙台に行った。作文の時間に、そのことを書いた。」

(2) つなぎことば

つなぎことばは、ことばとことば、文と文、段落と段落をつなぐはたらきをします。どんなつなぎことばが使われているかによって、前後の内容がどんな関係になっているかがわかります。

① 文やことばをならべる…および・ならびに
② 文やことばをつけ加える…そのうえ・それから・なお・しかも
③ 前の文の結果をあとの文で表す…したがって・ゆえに・すなわち・だから・それで
④ 前の文とぎゃくのことをあとの文で表す…ところが・けれども・しかし・だが
⑤ 前の文に説明をおぎなう…つまり・なぜなら・たとえば・ただし
⑥ 前かあとのどちらかを選ぶ…または・それとも
⑦ 話題をかえる…さて・ところで・ときに

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

植物の葉を食べる昆虫の幼虫が、あるきまった種類の植物しか食べないことは、古くから知られている。カイコはクワしか食べないし、モンシロチョウの幼虫は、アブラナ科植物の葉しか食べない。①それはなぜかという研究も、昔からおこなわれていた。

アメリカのフレンケルという人は、いろいろな植物の葉の成分を分析して、タンパク質やアミノ酸、炭水化物、脂肪というような栄養分についていえば、どの植物でもほとんど差がないこと、□、昆虫はどの植物を食べても、栄養的にはちゃんと育つはずであることを知った。

②それなのに、なぜ虫たちはえりごのみをするのだろうか？　それは、直接には栄養と関係のないことだが、葉のにおいがちがうからだ、とフレンケルは考えた。

フレンケルのこの考えは、その後しだいに正しいことがわかってきた。いくつかの虫では、そのにおいがあれば食べ、それがなければ食べないという物質が何であるか、かなりのところまでつきとめられているし、③そういう物質には、幼虫の＊味覚受容器がとくに敏感に反応することもよく研究されている。

そんなわけで、幼虫のえりごのみの原因が、植物の葉にふくまれているにおいにあることがわかってくると、チョウの親が卵を産むか産まないかも、やはりにおいによってきまるのだろうと、一般には考えられるようになっている。

（日高敏隆「チョウはなぜ飛ぶか」）

＊味覚受容器＝味の感覚を感じる器官。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「それ」の指している内容を文中から三十四字でさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

□□□□～□□□□

問二　□にあてはまることばとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　つまり　**イ**　ただし
ウ　けれども　**エ**　それとも

□

問三　――線②「それなのに」と同じはたらきをするつなぎことばとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　つまり　**イ**　または
ウ　さて　**エ**　しかし

□

問四　――線③「そういう物質」とはなんですか。文中から二十八字でさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

□□□□～□□□□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

①みなさんは、ねんどというと、どんなものを思いうかべますか？　色のついた、ゴムねんどや小麦粉で作ったねんどでしょうか。［Ａ］、紙をまぜてあつかいやすくした紙ねんどでしょうか。

ねんどは、もともとは土だけでできたもので、ここでお話するのも土のねんどについてです。

土は、おもに石がこまかなつぶつぶに分解(ぶんかい)してできたもので、その性質(せいしつ)はいろいろです。たとえば関(かん)東(とう)地方では、春さきの風の強い日などには、目をあけられないほどの、ひどい土ぼこりがたちますが、これは、関東ロームとよばれる火山灰(かざんばい)が多くまざった土のためです。火山灰は、つぶつぶが軽く、水をくわえてもすぐにしみこんでしまいます。そして、かわくとまた、もとのばらばらの土にもどってしまいます。

ねんどは、ふつう火山灰よりもさらにこまかいつぶの土ですが、水をくわえてねり合わせると、ねばりけをもち、かたちによくまとまり、そして、かわくとかたく固(かた)まる性質があります。②だから、ねんどを多くふくむ土地では、雨がふるとぬかるんでツルツルすべり、日でりが続(つづ)くと、ほこりもたたないほどカチカチに固まります。

日本では古くから、③このようなねんどの性質を、生活のなかに利(り)用(よう)してきました。たとえば家の土(ど)間(ま)がそうです。土間というのは、ゆかをはらずに地面をむき出しにした部屋です。土間は、ねり合わせたねんどをたいらにしき、すこしかわいたところで、＊ツチでたたいて固めて作ります。最近ではあまり見られなくなりましたが、すこしまえまでは、古い民(みん)家(か)にはかならず土間がありました。農家では、土間でいろいろな仕事をしたり、馬や牛を飼(か)ったものです。

また、日本ではほとんど例(れい)がありませんが、中(ちゅう)近(きん)東(とう)（サウジアラビア付(ふ)近(きん)）の乾燥(かんそう)した地方では、日(ひ)干(ぼ)しレンガを使って家をつくることもあります。日

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

干しレンガというのは、ねんどでレンガのかたちを作り、④それを日でかわかしただけのものです。また、南米のアマゾン河の流域の原住民＊2などは、日でかわかしただけのねんどの食器を使っています。

このような⑤ねんどをかわかしただけの食器やレンガは、だれにでもかんたんに作れますが、こわれやすく水がもれやすいという欠点があります。ですから日干しレンガは、地震がなく、しかも雨の少ない地方でしか使われませんし、日干し土器も、すぐこわれることをかくごのうえで、つぎつぎに作り、使いすてています。

日干しのレンガや土器は、しっかり固まっているようにみえても、少しは水分をふくんでいるし、また、目に見えないほどの小さなすきまがたくさんあいています。［　B　］、ちょっと力をいれてらんぼうにあつかうとすぐこわれるし、水につけるとすきまに水がはいり、もとのねんどのつぶにとけてしまいます。

（神崎宣武『やきもののはなし』）

＊1ツチ＝柄のついた、物をたたく道具。ハンマー。
＊2原住民＝その土地にもともと住んでいた人々。

問一　――線①「みなさんは、ねんどというと、どんなものを思いうかべますか？」とありますが、この文章はどんなねんどについて説明したものですか。文中から五字で書きぬきなさい。

［　　　　　］

問二　［　　］A・Bにあてはまることばとしてもっともよいものを次のうちから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　さらに　**イ**　しかし　**ウ**　それとも
エ　ですから　**オ**　では

A［　　］　B［　　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　――線②「だから」と同じはたらきをするつなぎことばを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　そのうえ　　イ　それで
ウ　あるいは　　エ　つまり

問四　――線③「このようなねんどの性質」について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1)「このようなねんどの性質」とは、どんな性質を指していますか。文中から四十九字でさがし、その初め（はじ）と終わりの四字を書きぬきなさい。

～

(2)(1)の「ねんどの性質」を、生活のなかに利用した例を文中から三字以内で三つ書きぬきなさい。

問五　――線④「それ」は何を指していますか。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　――線⑤「ねんどをかわかしただけの食器やレンガ」の長所と短所をそれぞれ書きなさい。

長所

短所

問七　この文章の内容と合わないものを次のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　火山灰は、つぶつぶが軽く、ふつう、ねんどよりあらいつぶである。

イ　すこしまえまでは、日本の古い民家には土間があり、農家ではそこで仕事をしたり家ちくを飼ったりしていた。

ウ　日干しレンガを水につけると、すきまに水がはいるので、さらにかたく固まる。

エ　アマゾン河の流域の原住民は、日干し土器を使用しているが、すぐこわれることをかくごして使っている。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講・説明的文章②

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

> 日干し土器を火で焼くと、じょうぶになります。よくかわかした土器を九百度前後で焼くことを素焼きといい、素焼きの方法には、大きく分けて、野焼き（土器を野原などで焼く方法）と窯焼き（窯を使って土器を焼く方法）のふたつがあります。

窯を使って土器を焼くと、地面のしっ気とか、風のぐあいなどを、あまり気にする必要はありません。やねさえあれば、雨の日にでも焼くことができます。ですから、燃料のまきを用意しておけば、一年中つくれるわけです。日本では天候がかわりやすいので、はやくから窯が発達しました。（いまから二千年ほどまえにつくられた弥生式土器の多くは、窯を使って焼かれたといわれています。ただ、①その窯がどのようなものであったのかは、よくわかっていません。）

今のこっている素焼きの窯の多くはかんたんなつくりで、下の図（省略）のように単室で、下から火をたく方式です。そしてこのような窯を使って素焼き土器を専門につくり、商売にする村もあらわれました。

たとえば、山口県の防府市に佐野という集落があります。ここは西日本でもっとも大規模な、素焼き専門の窯場（やきものを焼いて生活するところ）でした。現在では、素焼き窯をもつ家は一けんだけになっていますが、ほんの二、三十年まえまでは、佐野にある約百けんの家のほとんどが、佐野焼きといわれる素焼き土器づくりに関係していたのです。

②ここでつくられた素焼き製品の種類は、その売れ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

残った品や記録から、ほとんど全部があきらかになっています。おもなものをあげると、つぎのとおりです。

「つぼ、なべ、③茶いらかし（ホーロク）、どびん、めしばち（ごはんぢゃわん）、＊１ひばち、こたつ、ふろがま、井戸がわ（井戸のわく）、たにがわら（やねのつぎめにしくＶ字型のかわら）」

どの製品も、現在ではほとんど使われていないものばかりですね。でも、みんな生活の実用品でした。たとえばホーロクは、うすいさらのかたちをした、フライパンの役目をするもので、茶や豆、ゴマなどを、むらなくいるのにたいへんつごうのよい道具です。また、もちや魚をこんがり焼くこともできます。このように便利なホーロクなのですが、われやすくてあつかいにくいせいか、このごろでは、まったくといっていいほど売られていません。

④さて、素焼きの製品には、このほか、たこつぼ、かし型、＊２七輪など多くの種類がありました。プラスチックやアルミニウムがなく、⑤しかも鉄がそれほど豊富でなかった時代には、それはたいへん利用価値の高い容器でした。そして実際に、こうした素焼き土器を使った生活が、長く営まれてきたのです。

（神崎宣武『やきもののはなし』）

＊１ひばち＝はいを入れて、すみ火を起こし、湯をわかしたりあたたまったりする道具。
＊２七輪＝土を焼いて作ったこんろ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　窯焼きは、野焼きにくらべてどんな点が便利ですか。次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

地面のしっ気や［　　　　　］な
どをあまり気にせずに、［　　］さえあれば、
雨の日でも焼ける点

問二　――線①「その窯」とはどんな窯ですか。「～窯」につながる形で十字以内で書きなさい。

［　　　　　　　　　］窯

問三　――線②「ここで……製品」について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1)「ここ」が指している内容としてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　素焼き土器を専門につくり、商売する村
イ　山口県防府市の佐野という集落
ウ　佐野で現在でも素焼き窯をもつ家
エ　西日本にいくつかある素焼き専門の窯場

［　］

(2)「ここでつくられた素焼き製品」すべてに共通しているのは、どんなことですか。次の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

どれも［　　　　　　］で
あったこと

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線③「茶いらかし（ホーロク）」について、次の⑴・⑵に答えなさい。

⑴　茶いらかし（ホーロク）は、どんなときに使うものですか。「〜とき」につながることばを二つ文中からさがし、その初(はじ)めと終わりの四字を書きぬきなさい。

□□□□〜□□□□とき

□□□□〜□□□□とき

⑵　茶いらかし（ホーロク）が現在ではほとんど使われなくなったのはなぜだと筆者は考えていますか。文中から十五字で書きぬきなさい。

□□□□□□□□□□□□□□□

問五　――線④「さて」、⑤「しかも」は、どんなときに使うつなぎことばですか。もっともよいものを次のうちから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　前のことがあとのことの理由や原因(げんいん)となっていることをしめすとき

イ　前のこととあとのことが反対の内容になっていることをしめすとき

ウ　前のことにあとのことを付(つ)け足すとき

エ　前のことかあとのことかどちらかを選ぶとき

オ　前のことについて説明したり、まとめて言いかえたりするとき

カ　話題をかえるとき

④□

⑤□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　現在では、素焼き土器に代わって、何でできた製品が使われていると書かれていますか。次の（　）にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

（　　　　　）、（　　　　　）や（　　　　　）でできた製品

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

①みなさんの家では、どのような材質のなべを使っていますか？　たぶん、アルミニウムのものが、もっとも多く使われているのではないでしょうか。そのほか、ステンレス、*1耐熱ガラス、銅、それに鉄なべも使っているかもしれませんね。

いまからほんの三、四十年ほどまえまでは〝なべ〟というと、ほとんどが鉄のいもの（鉄をとかして型に流しこんでつくったもの）のなべをさしました。その②鉄のなべが、日本全国に使われだしたのは、江戸時代よりあとのことです。

日本ではじめて鉄が使われたのは、ずっと古い時代のことですが、③もともと日本には、*2鉄鉱石は多くありません。それで、江戸時代以前には、とぼしい鉄を、おもに、くわやかま、なたなどの農具と、刀、槍などの武器を作るのに使っていました。そして、ふだんの食事を作るのに使うなべやかまには、素焼きの土器が長いあいだ使われてきたのです。

日本人は、いまから二千年ほどまえの弥生時代には、すでに平野で水田を作り、イネを栽培して、米を食べていました。それに、それ以前にも、山や野原に火をつけて、その焼けあとに*3アワやヒエを作る、いわゆる焼畑農業をもっていました。このようなむかしから、日本人は、ヒエやアワ、米などを食べてきたのです。

ところで、④これらの*4穀物は、おもにつぶのままたいて食べるものです。このことは、おなじ穀物でも、粉にひいてパンに焼く麦や、アフリカなどでみられる粉がゆにするミレット（雑穀）とは大きくちがいます。そして、世界全体でみたとき、たくという方法は、日本をふくむ東アジア地域だけのものです。

これは、アワ、ヒエ、米には、てきとうなねばりけがあり、粉にひいてパサパサに分解するよりも、つぶでたいて食べるのが、いちばんおいしい調理法だったからです。

にたきをするには、何よりもなべ・かまが必要で

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

す。縄文式土器（じょうもんしきどき）も弥生式土器も、おもに、にたきをするために生まれたと考えられます。にたきといっても、縄文時代の食べものは、おもに木の実や貝、魚・けものの肉などでした。米をにたわけではありません。とくに、その時代の人間にとっては、*5収穫量（しゅうかくりょう）が不安定（ふあんてい）な狩り（か）よりも、専門的（せんもんてき）な技術（ぎじゅつ）や道具を用いなくても、季節（きせつ）ごとにあるていどの収穫が見こめる、貝や木の実の採集（さいしゅう）のほうがたいせつだったのです。貝は、シジミやアサリなどの二枚貝（にまいがい）が、木の実では、シイやカシの実のようなドングリ類がよく食べられていたようです。

ドングリはそのままでは*6アクが強く、しぶくて食べられたものではありません。そこで、ドングリを食べるにはアクをぬかねばなりません。⑤それにはいろいろな方法がありますが、かんたんには、なべでにればいいのです。また、貝もなべでにれば、貝がらが自然にひらいて、かんたんに食べることができます。

⑥このように日本では、米をたいて食べはじめる以前の縄文時代から〝にる（たく）〟という調理法と、そのための土器が生まれていたことがわかります。そして、アワや米などの穀物の栽培が進んでくると、ますます〝にる〟調理法がさかんになり、さらに〝むす〟調理法も生まれました。日本人ほど、なべやかまを必要とする民族（みんぞく）はほかにはないように思います。

（神崎宣武（かんざきのりたけ）『やきもののはなし』）

＊1耐熱＝高温の熱を受けても、形や質が変（か）わらないこと。
＊2鉄鉱石＝鉄をふくんでいる石。
＊3アワやヒエ＝アワもヒエもイネのなかま。
＊4穀物＝人が主食とするイネ・麦・アワ・豆などの作物。
＊5収穫量＝とり入れた農作物の量。
＊6アク＝植物にふくまれている、しぶみ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「みなさんの家では、どのような材質のなべを使っていますか？」とありますが、筆者はその答えの予想として、何種類の材質のなべを挙げていますか。漢数字で答えなさい。

□種類

問二　――線②「鉄のなべが、日本全国に使われだしたのは、江戸時代よりあとのことです」とありますが、それまでは食事を作るのに何が使われていましたか。文中から六字で書きぬきなさい。

問三　――線③「もともと日本には、鉄鉱石は多くありません」とありますが、江戸時代以前には鉄は何を作るのに使われていましたか。文中のことばを使って五字で書きなさい。

問四　――線④「これらの穀物は、おもにつぶのまたいて食べるものです」について、次の(1)〜(3)に答えなさい。

(1)　「これら」が指している内容を文中から九字で書きぬきなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(2) (1)の穀物を「つぶのままたいて食べる」のは、どこの人々ですか。「〜の人々」につながる形で文中から十二字で書きぬきなさい。

□□□□□□□□□□□□の人々

(3) (1)の穀物を「つぶのままたいて食べる」のはなぜですか。その理由が書かれている一文を文中からさがし、その初め(はじ)の五字を書きぬきなさい。

□□□□□

問五 ――線⑤「それ」が指している内容を「〜方法」につながる形で文中のことばを使って書きなさい。

□方法

問六 ――線⑥「このように日本では……わかります」とありますが、縄文時代の日本では、土器で何をにていたのですか。次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□□□□類や□など

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

◆気持ちを読み取る

物語文を読むときには、登場人物の気持ちを読み取ることが大切です。

(1) **気持ちを直接表す表現をとらえる。**

「うれしい」「悲しい」「さびしい」など、気持ちを直接表したことばをとらえましょう。

(2) **登場人物の会話に注目する。**

気持ちを直接言わなくても、人物のことばから、その気持ちがわかることがあります。会話の内容をはじめ、口調にも注意しましょう。

(3) **登場人物の行動や様子に注目する。**

会話だけでなく、行動や様子からも、人物の気持ちを読み取ることができます。

(4) **情景描写に着目する。**

登場人物の気持ちは、情景に暗示されることがあります。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

あきおがごろうに言う。

「とってもおいしそうなさくらんぼが、いっぱいなっている木を、見つけてあるんだ。すぐそこのがけの上だが、いっしょに行かないか。」

「へえ、すごいな。行こ。ひろし君もさそってやろうよ。」

「だめだよ。あいつはねぼうだから、まだぐうぐうねてるよ。」

「じゃ、起きるまで、まってやろうよ。」

「だめ、だめ。さくらんぼは、朝つゆにひえているのを食べるのがいちばんおいしいのだ。ほっといて行こう。」

「そんなら行こう。」

ひろしは、［　　］まどから首を出し、

「ぼくも行くよ、まってくれ。」

とさけんだ。

「あれ、もう起きているのか。」

「あたりまえだ。ぼく、ねぼうじゃないよ。」

なるほど、これはすごい。がけの上の大きなさくらんぼの木のはっぱの間に、まっかにうれたさくらんぼがいっぱいついている。

三人はいそいで木の上によじのぼり、思い思いにえだにこしを下ろすと、ものも言わずにとって食べた。

（花岡大学（はなおかだいがく）『ぼうしいっぱいのさくらんぼ』）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線部「だめだよ」と言ったときの「あきお」の気持ちとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　ひろし君に、いじわるをしようという気持ち

イ　とにかく早くさくらんぼをとりたいという気持ち

ウ　ひろし君をゆっくりねかせておきたいという気持ち

エ　せっかくのひみつをひろし君にも教えようとするごろうに腹を立てる気持ち

問二　□にあてはまることばとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　のんびり　**イ**　悲しそうに

ウ　あわてて　**エ**　知らずに

問三　三人がさくらんぼを食べるのにむちゅうになっていることがわかる部分を、文中から書きぬきなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

さて、正広（まさひろ）の家はほりをめぐらし、白かべのへいにとりかこまれた、大きい家だった。その家の風のよく通るざしきで、夏子（なつこ）先生はおばあさんに会った。

しらがで、小がらだが、じょうぶそうなおばあさんだ。

「正広のことで、一番こまったことは、友だちがいないことでございます。外に遊びにいっても、友だちが遊んでくれなかったと申しまして、すぐ帰ってくるのでございますよ。」

そのとき、外で、正広の声がした。

「おばあちゃん、泳ぎにいってもいい？」

「ああ、いいとも。でも、水のなかにはいっちゃだめだよ。あぶないからね。」

①<u>夏子先生はびっくりして</u>、おばあさんの顔を見た。水のなかにはいらないで、どのようにして泳ぐことができるのだろうか。

でも、つぎにはなるほどと思った。

――だから、友だちが遊ばないんだわ。泳ぎにいっても、正広は岸にじっとしているし、山にいって友だちが木にのぼっても、正広は木の下にいるにちがいない。夏子先生はいった。

「おばあさん。②<u>水のなかで泳ぐぐらいのことは、大目に見てやらなければ。</u>」

「いえいえ、たたみの上でなら泳いでもよろしゅうございますが、水のなかで泳ぐなど、とんでもない。何しろ正広は第十九代め太郎左衛門（たろうざえもん）になる子ですから、あぶないことは、いっさいやらないように申しきかせております。」

おばあさんは③<u>しらが頭をふりたてて、きっぱりことわった。</u>

しばらくして、夏子先生は正広の家を出た。

［　　］。

――村上（むらかみ）先生のいっていたとおりだわ。あのおばあちゃんが、すぐに、あぶないっていうので、正広くんはいくじなしになってしまったんだわ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

考えこみながら車を運転していた夏子先生は、まどをたたかれてびっくりした。

あわててブレーキをふむと、④いつのまにか、車はゴイサギ森のあるお宮の前にきていて、まどの外には、*ゴイサギ・ボーイズの顔がずらりとならんでいた。

「先生、すごいノロノロ運転だね。気をつけないと、交通事故おこすよ。」

「ありがとう。ちょっと考えごとをしていたからよ。」

「考えごとって？」

「正広くんのことよ。きみたちも友だちなら、正広くんのこと、考えてやったらどう。ちゃんと水のなかで泳がせてやりたいわ。」

「わかった。先生に交通事故おこされちゃたいへんだから考えるよ。」

「⑤たのんだわよ。」

ポンコツ・スバルは動きだした。

ちょっといくと道がカーブして、ゴイサギ森が右に見える。木のえだにゴイサギたちがすわり、足をぶらんぶらんさせて、何か話しているのが見えた。

――正広くんのこと、相談してくれているんだわ。いたずらだけど、いい子どもたち。

夏子先生は⑥むねがきゅっとなった。

（古田足日『夏子先生とゴイサギ・ボーイズ』）

＊ゴイサギ・ボーイズ＝健、ひろし、京平、とし子、の四人組。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「夏子先生はびっくりして」とありますが、夏子先生はどんなことにびっくりしたのですか。次の［　］にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

おばあさんが正広に、泳ぎにいくのはいいが、［　　　　］から、水にはいっては［　　］といったこと

問二　――線②「水のなかで泳ぐぐらいのことは、大目に見てやらなければ」から、夏子先生のどんな気持ちがわかりますか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　なんとしても正広を水のなかで上手に泳げるようにしてやりたいという気持ち

イ　正広をだれとでも仲よく遊べるやさしい子にしたいという気持ち

ウ　多少の危険は気にしないで、正広を友だちと元気に遊ばせてやりたいという気持ち

エ　正広がいくじなしになってしまった責任を、おばあさんにとってもらいたいという気持ち

［　］

問三　――線③「しらが頭をふりたてて、きっぱりことわった」ときのおばあさんの気持ちとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　正広を水のなかで泳がせようとする夏子先生にはらを立てる気持ち

イ　正広にあぶないことは決してさせたくないという気持ち

ウ　正広を根じょうのある強い子に育てたいという気持ち

エ　正広を友だちと外で遊ばせたくないという気持ち

［　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　□にあてはまることばとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　うれしかった　イ　おどろいた
ウ　満足（まんぞく）だ　エ　ゆううつだ

□

問五　――線④「いつのまにか、車はゴイサギ森のあるお宮の前にきていて」から、夏子先生のどんな様子がわかりますか。「～様子」につながる形で文中から十五字で書きぬきなさい。

□□□□□□□□□□□□□□□様子

問六　――線⑤「たのんだわよ」とありますが、夏子先生はゴイサギ・ボーイズにどんなことをたのんでいるのですか。次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□□□として、正広のことを□□□やってほしいということ

問七　――線⑥「むねがきゅっとなった」とありますが、このときの夏子先生の気持ちの説明として、もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　感動している。　イ　心配している。
ウ　期待している。　エ　ほっとしている。

□

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講・文学的文章④

一題目 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

夏休み。①ゴイサギ森から、子どもたちの声がきこえた。

「そら、正広。②えだをなわでしばるんだ。」

正広は、木の上の健のさしずにしたがう。

えだのあいだからたらされたなわに、板がむすびつけられ、木の上に引きあげられる。木の下には正広ととし子、上にはほかの三人。

えだとえだのあいだに板がしきつめられ、三人ぐらいならすわることのできる、ゴイサギの巣が二つ、つくられているのだった。

この板を＊提供したのは正広だ。夏子先生がお宮の森のゴイサギたちを見て、正広のことを相談してくれていると思って、むねがきゅっとなったとき、この連中が相談していたのは、じつはこの巣をつくる板をどこから手に入れるかということだった。

「そうだ。正広くんと遊んでやって、そのかわり、板をもらえばいいわ。」

「うん、それはいい考えだ。」

③こういうことから、正広と遊ぶということがはじまったのだが、大げさに夏子先生に報告して、「友情に感謝する」などといわれたので、巣をつくったら、④正広をおはらいばこにするというわけにはいかない。

「まあ、いいや。あいつ、ぐずだけど、毎日、おかし持ってきてくれるもんな。」

巣の上にねそべった健は、えだにつるした箱から、おかしを取って食べる。健は水泳パンツ一まいのはだかだ。えだの上から川にとびこめるのが、この巣のよいところだ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「⑤正広くん、もっとこっちにきてみろよ。」川のなかで、ひろしと京平(きょうへい)が水をはねあげながらいう。岸に近い浅(あさ)いところに正広はうきわをつけてはいっているが、深いほうへはいこうとしない。

　とつぜん、水のなかからとし子が正広のそばにうかびあがって、うきわをぐいぐい引っぱった。

「あ、あ、あ。」

　正広は□、むちゅうで水をかく。ひろしと京平が近よって、一人は正広の頭をおさえつけ、一人はもぐって足を引っぱる。うきわはとし子に取られ、正広はうかびあがったり、しずんだりする。

　毎日、こんなことをしているうちに、ゴイサギたちもしだいに正広が好(す)きになってきた。

「⑥これをやるよ。忍者(にんじゃ)の目つぶしだよ。きみをいじめるやつがいたら、ぼくたちがおっぱらってやるけども、一人のときには、これをぶっつけてやったらいいよ。」

　健は、タマゴのからのなかに、灰(はい)やトウガラシをつめこんだ目つぶしを、正広にやったりした。

（古田足日(ふるたたるひ)『夏子先生とゴイサギ・ボーイズ』）

＊提供＝利用してもらうために、お金や物・技術(ぎじゅつ)などをさし出してあたえること。

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「ゴイサギ森から、子どもたちの声がきこえた」とありますが、ゴイサギ森に子どもたちは何人いるのですか。漢数字で答えなさい。

［　］人

問二　――線②「えだをなわでしばるんだ」とありますが、いったい何をつくろうとしているのですか。次の［　］にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

三人ぐらいなら［　　　］ことができる、えだとえだのあいだに［　］をしきつめた、［　　　　　　］というもの

問三　――線③「こういうことから、正広と遊ぶということがはじまった」とありますが、どんなことから正広と遊ぶことになったのですか。もっともよいものを次のうちから選（えら）び、記号で答えなさい。

ア　遊んでやるかわりに毎日おかしをもらおうと考えたこと

イ　夏子先生から遊んでやるようにたのまれたこと

ウ　遊んでやるかわりに巣をつくる板をもらおうと考えたこと

エ　巣をつくる手伝いをしたいという正広の申し出を受けたこと

［　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線④「正広をおはらいばこにする」とは、どうすることですか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　正広にはもう巣をつくらせないようにすること

イ　正広からはもう板をもらわないようにすること

ウ　正広をもう仲間（なかま）はずれにはしないようにすること

エ　正広とはもう遊ばないようにすること

□

問五　――線⑤「正広くん、もっとこっちにきてみろよ」について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1)　このとき正広はどんな様子でしたか。次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

川の、岸に近い□□□□□に□□□をつけてはいっていた。

(2)　「こっち」とはどんなところですか。文中から四字で書きぬきなさい。

□□□□

問六　□にあてはまることばとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　笑（わら）いそうになって

イ　泣（な）きそうになって

ウ　おこりそうになって

エ　得意そうになって

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　――線⑥「これをやるよ……ぶっつけてやったらいいよ」とありますが、ここからわかる正広に対する健の気持ちを説明したものとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　正広のいくじのなさにあきれ、かわいそうに思っている。
イ　正広を自分たちの仲間だとみとめている。
ウ　正広をからかってこまらせようとたくらんでいる。
エ　正広をもっと強くしてやろうとはりきっている。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〈今日は、クラス対抗の水泳大会の日。あと一種目、五十メートル男子自由形で優勝クラスがきまる。〉

「だれか、出てくれないか。出さえすれば、びりでも、一点はもらえるんだ。六年二組が十点とっても、同点優勝だぞ。」

学級委員や、ゴイサギ・ボーイズは、まだ泳いでいない連中に話してまわった。

だが、五十メートル泳ぎきる自信のあるものは、だれもいない。

場内アナウンスはよぶ。

「五年三組の選手はまだですか。」

プールのとびこみ台には、九人の選手がずらりとならんだ。五年三組の第八コースだけが、ぽっかりあいている。

ドーン

スタートのピストルが鳴って、九人の選手は、いっせいに水中にとびこんだ。

「ざんねん、優勝をのがしたな。」

ゴイサギたちが顔を見あわせたとき、第八コースのとびこみ台に立った子がいた。

「①あっ、太郎左衛門だ。」

みんなはおもわずさけんだ。正広はプールのなかに、ドボンと落ちこんだ。自分では、とびこんだつもりだ。②ほかの組の子どもたちは、どっとわらった。

「つぶれたカエルみたいだぞう。」

「カエルなら、泳げるけど、太郎左衛門はかなづちだ。」

そのとおり、ちょっと泳いだ正広は、ぶくぶくとしずんだ。

「あ、あ、あ。」

③夏子先生は、気が気でない。

「がんばれ、太郎左衛門。プールは浅いぞ。背が立つぞ！」

ゴイサギ・ボーイズは、声をそろえてどなった。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

正広はプールのなかで立ちあがり、ひといきつくと、また泳ぎだした。

「それでも選手かあ。うきわ、かしてやろうか。」

やじがとんで、ほかの組の子はまたわらう。だが、五年三組の子は、だれもわらわなかった。

「④がんばれ！　太郎左衛門。がんばれ！　太郎左衛門！」

四、五メートル泳いでは、ひとやすみ。またひとやすみ。正広はイヌかきで泳いだ。

ほかの選手は、もう二十五メートルのプールを往復(おうふく)して、岸にあがった。

正広は、やっと、こちら岸についた。

「あがったら。ね、正広くん。」

夏子先生は正広を引っぱりあげようとした。

だが、正広は、くるしそうに大きないきをつぎながら、ターンした。

広いプールを、たった一人。正広は、いきをきらし、しずみそうになりながら、やすみ、やすみ、泳いでいく。

「⑤がんばれ！　太郎左衛門。がんばれ！　太郎左衛門！」

もう、だれ一人、正広をわらう子はいなかった。

校長先生も、ほかの先生も、総立(そうだ)ちになり、全校生徒(せいと)が正広をおうえんした。

「がんばれ！　正広くん。がんばれ！　正広くーん。」

さけぶ夏子先生の目のなかで、泳ぐ正広のすがたが、ぼやけていく。⑥なみだが、あとから、あとから、わいてくるのだった。

（古田足日(ふるたたるひ)『夏子先生とゴイサギ・ボーイズ』）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「あっ、太郎左衛門だ」とありますが、太郎左衛門（正広）は、なぜ五十メートル男子自由形に出ることにしたのだと考えられますか。次の［　］にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

自分が出れば［　　］でも一点もらえるので、六年二組が十点とっても、五年三組は［　　　　］になるから。

問二　――線②「ほかの組の子どもたちは、どっとわらった」とありますが、正広のどんな様子を見てわらったのですか。次の［　］にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

プールのなかに［　　　　　　］［　　　］様子

問三　――線③「夏子先生は、気が気でない」とありますが、このときの夏子先生の気持ちを説明したものとしてもっともよいものを次のうちから選(えら)び、記号で答えなさい。

ア　正広がもっとわらわれるのではないかと心配している。

イ　正広がと中で泳ぎをやめるのではないかと心配している。

ウ　正広がおぼれるのではないかと心配している。

エ　正広がびりになるのではないかと心配している。

［　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線④、⑤の「がんばれ！　太郎左衛門」は、それぞれだれがおうえんしている声ですか。文中からそれぞれ書きぬきなさい。

④

⑤

問五　だれ一人、正広をわらう子はいなくなり、みんなが正広をおうえんするようになったのはなぜですか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　びりでも最後まであきらめず、前の人に追いつこうと必死に泳ぐ正広のすがたに感動したから。

イ　つかれてしずみそうになりながらも、少しもやすむことなく最後まで泳ぎ続ける正広のすがたに感動したから。

ウ　かなづちだった正広が、五十メートルをみごとに泳ぐすがたに感動したから。

エ　うまく泳げなくても、ひどくつらくても、最後まで泳ぎぬこうとする正広のすがたに感動したから。

問六　――線⑥「なみだが、あとから、あとから、わいてくる」とありますが、このときの夏子先生のなみだは、どんな気持ちから出たものですか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　悲しみ　**イ**　安心

ウ　心配　**エ**　喜び

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第七講・説明的文章③

◆事実と意見を読み分ける

説明文を読むときは、事実や具体例と、筆者の考えや意見・感想を読み分け、どんな事実や具体例をもとに、筆者がどんな考えをのべているかをとらえることが大切です。

(1) 事実をのべた文

筆者が考えをもつきっかけとなったことや、考えの根きょ、説明するための具体例などをのべています。

「だ」「です」など、はっきりとのべたり、「……だそうだ」「……ということだ」など、人から聞いた話としてのべたりします。

(2) 意見をのべた文

「思う」「考える」など、自分の考えであることをしめしてのべるほかに、「……のだろうか」など、疑問を投げかける表現や、「……といえそうだ」「たぶん……だろう」「……かもしれない」など、判断をふくんだ表現のものがあります。

事実をのべた文なのか、意見をのべた文なのか、文末の形だけでは区別ができないこともあるので、内容もしっかりとかくにんすることが必要です。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

春の空は、まず光がみちみちてくる感じで、これを「光の春」といいます。冬の寒さは*1冬至よりおくれて2月にまでずれこんでいるのに、昼の時間はどんどん長くなっていくからそのように感じられるのです。

冬至のときの昼の長さは、9時間45分、これが立春になると10時間33分となり、春分には12時間7分となります。これはたいへんめだった変化です。

春は、冬と夏の交代する季節です。その交代のしかたは、とつぜん、冬が夏になるのではなく、はやめに夏のきざしがあらわれたり、そのあとふたたび冬の天気にあともどりしたりしながらかわっていきます。①この一進一退のあらわれるのが春です。春の期間は*2緯度が高くなるほど短くなります。そのため、たとえば北海道では、花のさく時期が5月に集中しています。

あたたかくなったり、寒くなったりする天気の変化は、いつも周期がきちんときまっているというわけではないのですが、春にはおよそ3〜4日で天気の変化がくりかえされることが多いのです。春雨のあと、みょうにかすんだ日が1〜2日続くと、こんどは*3砂じんをまきあげ、中国大陸から黄砂を運んでくる春のあらしがふくといったような天気の変化です。

②春の雲はかすめる雲、夏の雲はわきたつ雲、秋の雲は流れる雲、冬の雲は氷の雲、というように、各季節の雲のたたずまいは、それぞれの特徴をもっています。

春の雲がかすんでいるのはおよそ二つの理由が考えられます。第一は、春になると、それまでの冬の北の気流が、南の熱帯からの気流といれかわるためです。熱帯に旅をしてみると、北方のすんだ空気に対して、南の空はなんとなくかすんでいるのを実感されるでしょう。春の雲がかすんでいるということは、南方の気流が日本上空にまでおよんでいるとい

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

うことをしめしています。
　空がかすんで見える第二の理由は、煙霧のためです。煙霧には、暖房や自動車・工場などの煙がもとになるもののほか、植物からでるものがあります。これは、春になると、植物はさかんに＊4光合成をするようになり、＊5揮発性の物質が放散されるようになります。その物質に、太陽の光があたると、紫色がかった③自然の煙霧になります。
　かすみということばは、気象学では正式な用語としては使われていません。なぜかというと、かすみという場合に昔から意味のちがったふたつの現象をさしていて、たいへんまぎらわしいからです。ふたつの現象とは、およそつぎのようなことです。
　a遠方にたなびいて見えるかすみ
　『かすみたなびく』ということばが昔からいわれるように、遠方の地平に＊6層状の雲がひろがっているようなときに、これをかすみとよび、歌にもよみこまれています。この場合のかすみは、朝方、地面が＊7放射冷却をしたときにあらわれやすく、昔は庶民のかまどからでる煙も、かすみのようにたなびいて見えることもありました。
　bぼんやりとかすんで見えるかすみ
　このかすみは地表から１５００ｍくらいまでおよんでいます。その上はよく晴れあがっています。これは春に飛行機にのるとよく経験することですが、なんとなくかすんだ空は雲のようにはっきりした形をとりませんが、上限がわりあいはっきりしているため、一面に白い海がひろがっているように見えることもあります。

（根本順吉『春のお天気』）

＊１冬至＝北半球では、一年中で昼がいちばん短くなる日。
＊２緯度＝地球上のある点を南北方向でしめす目もり。
＊３砂じん＝すなぼこり。すなけむり。
＊４光合成＝緑色植物が、光のエネルギーを使って、空気中の二酸化炭素と根からすいあげた水分とで、でんぷんを作るはたらき。
＊５揮発＝液体が、常温で気体となって発散すること。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

＊6層状＝いくえにも重なっている状態。

＊7放射冷却＝地表面から冷えて、地表近くの気温も下がる現象。

問一　――線①「この一進一退のあらわれるのが春です」について、次の(1)〜(3)に答えなさい。

(1)　筆者は、春をどんな季節といっていますか。文中から書きぬきなさい。

(2)　「一進一退」とは天気の変化のどんな様子を指していますか。「〜様子」につながる形で文中から十八字で書きぬきなさい。

様子

(3)　春の天気はどのくらいの周期で変化することが多いのですか。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　――線②「春の雲はかすめる雲」とありますが、春の雲がかすんで見えるのはなぜですか。その理由をのべている段落（だんらく）を二つさがし、その初（はじ）めの五字をそれぞれ書きぬきなさい。

［　　　　　］［　　　　　］

問三　――線③「自然の煙霧」について説明した次の［　］にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

植物が［　　　］をするときに［　］［　　］の物質が出て、これに［　　］の光があたると空気がかすんで見える。

問四　次の**ア**～**カ**は、＝＝線a「遠方にたなびいて見えるかすみ」、b「ぼんやりとかすんで見えるかすみ」のどちらの「かすみ」についての説明ですか。それぞれ記号で答えなさい。

ア　地表から１５００ｍくらいまでの高さにおよんでいる。

イ　遠い地平にいくえにも雲がひろがっているようなときを指す。

ウ　昔から歌にもよみこまれている。

エ　朝方、地面が放射冷却をしたときにあらわれやすい。

オ　上限がわりあいはっきりしている。

カ　雲のようにはっきりした形はとらない。

a［　　　］　b［　　　］

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第八講・説明的文章④

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ア春先、よく晴れた日に、地平近くの遠方を見ると、ビルやさらに遠くの山などがゆらゆらと動いて見えることがあります。これが①かげろうです。

かげろうは、たきびの火であたためられた空気を通して向こう側を見るとゆらめいて見えるのと同じように、太陽にあたためられた空気の向こう側の山やビルがゆらいで見える現象をいいます。

春になって、日ざしが強くなりますが、アスファルトの道路やコンクリートでおおわれた都会、黒土の多い畑などは、川や湖、海などとくらべるとはやくあたたまります。そうすると、その上の空気が、さらにあたためられ、空気にむらができます。そこを光が通ると複雑に＊１屈折して、かげろうがおこるのです。

ガラスのコップに水をいれ、その底を少し熱すると、かげろうと同じ現象がおこります。ひとつ実験してみませんか。

かげろうは、真夏でもあらわれますが、かげろうが春の風物として親しまれているのは、夏のかげろうは炎天下でおき、やりきれないほどの暑さを感じさせるので、気持ちよい風物にはならないからでしょう。

春にのどかな晴天が続いたあと、冬の気流があともどりしたように大陸方面から＊２寒冷前線となって通りすぎると、かわききった＊３関東ローム層などから＊４②砂じんをふきあげ、その細かい粒子は部屋のすみずみにまで侵入してきます。

東京がまだ江戸とよばれていた昔、道路は現在のように舗装されていなかったので、そこからまいあ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

がる風じん＊5は、江戸のひとつの名物でした。

イ＊6「風がふけば桶屋がもうかる」という話もおそらく、そのような風土を背景として生まれてきたものでしょう。

風じんはさまざまな形で、風を見せてくれます。たとえばじん旋風、これは学校の校庭のかたすみなどで、まいあがる小型のたつまきのようなものをいいます。

風じんがひどくなると、太陽はぼんやりと赤いお盆のように見えます。電車や自動車は昼間でもヘッド・ライトをつけてのろのろ走り、それでも、ひどいときには20〜30m先が見えなくなります。

春は砂じんがまきあがるのをおさえてくれる草木がまだしげっていないので、ほかの季節よりは、よほどひどくなるのです。

春の晴れた日に、空が黄色ににごって見えることがあります。これは地表の砂じんがまいあがったり、空をにごらせていることによるものですが、空気をにごらせるものが、はるかに遠く、中国方面からとんできた場合は、③黄砂（昔は黄沙と書いた）といいます。

これに対して、たとえば関東地方などで、ローム層から砂じんがまきあげられ、空をにごらせることがあります。この場合はたんに風じんとか黄じんとかいえばよいでしょう。

ウ黄砂の源は中国の黄土高原地帯（黄河＊7が大きくおれまがったあたり）のひじょうに細かいレスとよばれる粘土の粒です。これより西のタクラマカン砂漠などにある砂は、粒があらく、重いため、日本まで飛んでくる以前に落下してしまいます。

エ日本海側の雪国では黄砂が雪にまざると、黄色や赤色の雪がふります。色づいた雪はよけいに太陽光線を吸収するため、白い雪よりはとけやすく、山村の人々は④色のついた雪がふると春のくる前兆であるとしてたいへん喜びます。

（根本順吉『春のお天気』）

＊1屈折＝ここでは、光が進行方向を変えること。
＊2寒冷前線＝寒気側から暖気側へ移動している前線。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

通過時に気温が急に下がり、雷雨や突風をともなう。

＊3関東ローム層＝関東地方の大地をおおう火山灰層。

＊4砂じん＝すなぼこり。

＊5風じん＝風でまいたつごみ。

＊6「風がふけば…」という話

＝風がふくことで、次々といろんなことがおこり、ついには桶屋がもうかる、という江戸時代の話。

＊7黄河＝中国で二番目に大きな川。

問一　――線①「かげろう」はどのようにしておこるのですか。次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

アスファルトの［　　］や［　　］の多い畑などが春の強い日ざしであたためられると、その上の空気がさらにあたためられ、空気に［　　］ができる。そこを［　］が通ると複雑に［　　］し、かげろうがおこる。

問二　――線②「砂じん」が春にひどくまきあがるのはなぜですか。次の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

砂じんがまきあがるのをおさえてくれる［　　］が、まだしげっていないから。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三 ――線③「黄砂」について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 黄砂はどこからきますか。文中から二字で書きぬきなさい。

(2) 黄砂がとんでくると、空はどうなりますか。文中から十字で書きぬきなさい。

問四 ――線④「色のついた雪がふると春のくる前兆であるとしてたいへん喜びます」とありますが、日本海側の雪国の山村の人々が喜ぶのはなぜですか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 黄色や赤色の雪のほうが春らしいはなやかな気分になるから。

イ 雪が太陽光線を吸収するとまわりが明るくなるから。

ウ 色のついた雪がふったあとは春の晴天が続くから。

エ 色のついた雪は白い雪より太陽光線を吸収しやすく、雪が早くとけるから。

問五 ----線ア～エの文のうち、筆者の意見をのべているものを一つ選び、記号で答えなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

1　日本は、南西諸島の北緯25度以北から、北海道の北緯45度以南の範囲に、およそ緯度で20度幅の範囲に細長くのびており、①気候帯でいえば亜熱帯から温帯にあります。

2　日本では春夏秋冬の四季の変化がはっきりしていますが、四季の変化は地球上どこでも同じように進行しているわけではありません。四季の変化が*1顕著なのは温帯特有といってもいいでしょう。

3　寒帯では、夜の長い半年と昼の長い半年の交替が四季の変化よりも目立ちます。北緯65度以北になると、昼だけの半年と夜だけの半年の変化になってしまいます。その交替は春と秋にあるわけですが、半年の間、1日中闇の世界から、夜があけて②1日中昼の状態が半年も続くことになります。

4　ですから、春、北の地平があかね色に色づき、明るくなり始めるときの感激はひとしおで、そこに住む原住民たちはいろいろなお祭をして、明るい夏の到来を喜びます。

5　半年も続く夜の空に輝くのはオーロラですが、アオーロラは夜のない半年間はまったく見ることができません。オーロラの*2壮観を見ることができる半年と、1日中太陽の沈まない半年の交替があるだけです。

6　私は、春の彼岸をすぎたころ、北緯80度以北を漂流中の氷山の上に見学に行ったことがありますが、そこでは仕事をするにしてもスキーをして遊ぶにしても、夜がないので、どうしても遊びすぎてしまいます。イこの氷山に行く前に、北極研究所の所長さんから受けた第一の注意事項は、時のたつのを忘れて遊びすぎないようにということでした。

7　ウ氷山の上の気温はマイナス20℃位で、風はほとんど吹かず、1日中太陽がさしているのですから、1～2時間位なら、防寒具は東京の冬の服装でも

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

さほど寒く感じません。

8　春夏秋冬の四季の変化がはっきりしているのは温帯です。この地帯でも北にいくほど春と秋は短くなり、夏と冬が長くなります。

9　それでは、温帯の四季の変化はどこでも同じかというと、そうではありません。

10　極東(きょくとう)アジアにある日本は、夏と冬で主に吹く風が交替する、いわゆる季節風（モンスーン）の地帯にあるので、太陽高度の変化による四季の変化に、さらに季節風の交替による気団(きだん)の変化が重なります。

11　エ夏に日本付近(ふきん)を支配する空気は熱帯の気団で、冬に支配するのはシベリアの亜寒帯気団です。季節風の交替によって気団の交替がおこなわれるので、四季の変化はますます顕著になります。それは30℃以上の真夏日、世界有数の豪雪(ごうせつ)地帯といった大きな*3振幅(しんぷく)の天候の変化となってあらわれています。

12　モンスーン地帯以外の四季の変化は、日本付近とはだいぶちがっています。たとえば、地中海地方はアメリカ西岸のカリフォルニアなどの地方と同じく、「冬雨気候地帯」といわれ、１年中の雨の大部分は冬に降(ふ)ってしまい、春から秋にかけては、一点の雲もないような紺碧(こんぺき)の青空が続きます。そのような場所では、冬に降った多くても５００㎜以下の雨が地下水などとしてたまり、１年中平均(へいきん)して使えるようなところでなければ住むことができません。

13　比較的乾燥(ひかくてきかんそう)した晴天の続く春夏秋を通して吹く風をエテジア風といい、季節風の一種です。それは北よりの風で、内陸部(ないりくぶ)からエーゲ海などに吹きだしてくるので晴天が続くのです。ギリシアでは、エテジア風の吹きだす頃(ころ)が春を告げることになります。

14　熱帯では１年中の気温の振幅が小さく、たとえばシンガポールでは1.7℃しかありません。□、気温の変化から四季が感ぜられるということはほとんどありません。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

15 そこでみられる１年間の気候変化の特徴は、乾期と雨期のちがいです。

（根本順吉『春のお天気』）

＊１顕著＝はっきり目立つ様子。
＊２壮観＝ゆう大なながめ。
＊３振幅＝ふれはば。

問一　――線①「気候帯」とありますが、日本はどの気候帯にありますか。文中から書きぬきなさい。

問二　――線②「１日中昼の状態」とありますが、この状態を筆者が体験したときのことが書かれている段落はどこからどこまでですか。段落番号で答えなさい。

□～□

問三　□にあてはまることばとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　ところが　　イ　したがって
ウ　たとえば　　エ　または

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　「四季の変化」について、次の(1)〜(3)に答えなさい。

(1)　日本では四季の変化が顕著なのはなぜですか。次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□□□□の変化による四季の変化に、さらに□□□の交替による□□の変化が重なるから。

(2)　地中海地方の四季の変化にはどんな特徴がありますか。次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

春から秋にかけては□□が続き、冬に□□□□□□□□□が降る。

(3)　熱帯の地方の一年の気候変化にはどんな特徴がありますか。次の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

気温の振幅が小さく、□□□□が大きい。

問五　次の(1)・(2)の内容（ないよう）について書かれている段落はどこからどこまでですか。それぞれ段落番号で答えなさい。

(1)　寒帯の季節変化について　□〜□

(2)　温帯の四季の変化について　□〜□

問六　――線ア〜エの文のうち、筆者の意見をのべているものを一つ選び、記号で答えなさい。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第九講・文学的文章⑤

◆性格をとらえる

物語では、登場人物の性格や人物像をとらえることで、より深い読み取りができます。

(1) **性格が書かれたことばをとらえる。**

「短気だ」・「明るい」など、性格が直接に表されていることがあります。

(2) **会話・行動をとらえる。**

会話や行動は、その人物の性格と結びついています。ある場面でどんなことを言ったか、どんなことをしたかによって、性格をとらえることができます。

(3) **心情をとらえる。**

同じ状況でも、人によって心情はちがいます。心情をとらえることで、その人物の性格がわかります。

会話や行動、心情と性格が強く結びついているということは、ぎゃくの読み取りもできるということです。性格・人物像をとらえられれば、ある状況でその人物がどんな行動をとるか、どんな気持ちになるか、といったことがわかります。そのような読み取りのくりかえしで、読みをどんどん深めていくことができます。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

中山君は、背中を丸めて、熱心に筆を走らせていた。みんなの話し声も、一向に耳に入らないらしい。ほっぺたをふくらませ、口をぎゅっと結んで、□かいていた。

「何をかいているのだろう。」

ぼくは、そっと画用紙をのぞきこんだ。

いきなり、ぼくの目に、海辺の景色がとびこんできた。ごつごつした岩と松林の向こうに、青い海が見える。小さな漁船が、三そうばかりうかんでいる。海の上には、大きな入道雲がわき起こっている。

中山君の絵が、あまりすばらしかったので、ぼくは思わず、

「うまいなあ、中山君。」

と言ってしまった。

「それ、どこの景色なの。」

ときくと、中山君は、青い海の上に白い絵の具で波をかき足しながら、

「ぼくが、前に住んでいた所。」

と答えた。そして、めずらしく自分のほうから、低い声で、

「この海岸には、きれいな貝が、いっぱいあるんじゃ。海水浴もできるんじゃ。」

と説明してくれた。それは、聞きなれない言葉づかいだった。しかし、①中山君が口をきいてくれたので、ぼくは、とてもうれしくなった。

「景色のいい所だなあ。」

中山君の絵を見ながら、ぼくは、②もう一度感心してつぶやいた。

ぼくたちの今住んでいる町は、にぎやかで便利だが、工場がたくさんあるので、年じゅう、空が灰色にくもっている。こんな海岸に住んでいたら、どんなに気持ちがいいだろうと、ぼくは思った。

すると、中山君は、

「本当は、この絵よりも、百倍も、千倍も、きれいな所なんじゃで。」

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

と、得意そうに言った。
　今度の声は大きかったので、前の席にいる女の子たちが、いっせいにふり向いて、くすくす笑った。中山君の言葉に変ななまりがあったので、それがおかしかったのだ。
　すると、中山君は、はっと気が付いたように顔を赤くして、それからは、もう何をきいても、一言もしゃべらなくなってしまった。いつもの中山君にもどってしまったのだ。
　ぼくは、中山君がなぜいつもだまっているのかが、そのとき、やっと分かった。中山君は、自分の言葉のなまりがはずかしかったのだ。それで、笑われまいとして、しゃべらないように用心していたのだ。
　それから、しばらくして、ぼくが病気になって欠席したとき、中山君は、自転車に乗ってみまいに来てくれた。
　そのとき、ぼくがねむっていたので、中山君は、げんかんでお母さんに小さい紙包みをあずけたまま帰ってしまった。

　ぼくは、目がさめてからその話を聞いて、残念でたまらなかった。③ねむっていなかったら、ゆっくり中山君と話すことができたのにと、思ったからだ。

（大石真「貝がら」）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　□にあてはまることばとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　こっそりと　**イ**　むちゅうで

ウ　いそいで　**エ**　のんびりと

□

問二　――線①「中山君が口をきいてくれたので、ぼくは、とてもうれしくなった」のはなぜですか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　気むずかしい中山君が初めて話をしてくれたから。

イ　無口な中山君がめずらしく話をしてくれたから。

ウ　中山君のグループにようやく入れたから。

エ　中山君とやっと仲直りできたから。

□

問三　――線②「もう一度感心してつぶやいた」のはなぜですか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　中山君が口をきいてくれたことがうれしかったから。

イ　中山君におせじを言ったほうがよいと考えたから。

ウ　中山君の絵が本当にすばらしいと思ったから。

エ　中山君に絵を教えてほしいと思ったから。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線③「ねむっていなかったら、ゆっくり中山君と話すことができたのに」とありますが、このときの「ぼく」の気持ちを表した次の文の〔　〕にあてはまることばを、文中から書きぬきなさい。

　中山君と話すことができなくて、〔　　　　　　　　〕。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

〈「わたし」(可奈子(かなこ))たちのクラスはいがみ合ってばかりいたが、音楽祭に向けてまとまりを見せはじめた。〉

五十分まで待って集まったのはちょうど十人、女子の半数である。

「これだけじゃあね」

ひな子が、①くちびるをかんだ。

「でも、はじめよう。やるしかない」

幸子が、ひな子のアコーデオンをもって、ブーッと鳴らした。

これが、合図だ。

わたしたちは、ふるえながら歌った。

寒くて、ささやき声しか出ない。ときどき、犬の鳴き声がまじる。とたんに、曲がワワワワンとはやくなった。すぐ近くで、クラクションが鳴りひびく。

すると、だれかがオペラ歌手のようなかん高い声をはりあげた。そのたびに、わたしたちは、指さしあって笑(わら)いころげた。が、笑っている場合ではなかった。へんなふるえ声……とふきだしたいのをがまんしているうちに、とつぜん、それが自分の声だと気づいたりもした。

「でも、ずいぶんよくなったみたいよ」

「うん、低音部の男子につられないわよ、もう」

「これで午後は、けっこうあわせられるわね」

「じゃ、学校へ行こう」

「寒いから、みんなで走ろう」

わたしたちは、前の人の背中(せなか)をこすりながら、小さいころした汽車ごっこのようにつらなって、学校まで走った。

けれども、この早朝練習は三日間しかつづかなかった。

四日目に、ひな子とまき子が学校を休んだ。②かぜで寝(ね)こんだのだと、先生から知らされた。

③「ほかにも、お母さんがたから、心配してなん回

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

か電話がありました」

上田先生は、早朝練習がいいとも悪いとも、これからどうしなさいとも言わなかったけれど、わたしたちは、がっかりしてしまった。しばらくは口をきく元気も出なかった。

これでまた、出発点にもどったわけだ。

同じころ、男子のほうでも、もめごとがおこっていた。

あまりに礼介(れいすけ)が打ちこみすぎて、「もうちょっと」「もう一回だけ」と言いすぎたのだ。それで、男子が怒(おこ)って、練習をとちゅうで投げだして帰ってしまった、というわけだ。

「なんで、こんなにまでしなきゃならない」

「斉藤(さいとう)が燃(も)えるのは勝手だけどな」

「おれたちまで、まきこんでほしくないよな」

「かえろ、かえろ」

「どうせ、やっても勝てっこない」

礼介と哲也(てつや)と幸子とわたし。

放課後のガランとした寒い教室に、けっきょく、はじまりと同じ、四人だけが残った。

④もうだめだ。

そのことばが、どうかすると、わたしの口からとびだそうとする。⑤でも、やっとおさえた。言ってしまえば、ほんとうに、なにもかもだめになってしまいそうだ。

（高田桂子(たかだけいこ)『ふりむいた友だち』）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「くちびるをかんだ」は、ひな子のどんな様子を表していますか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　こまっている様子
イ　ふしぎがっている様子
ウ　怒っている様子
エ　残念がっている様子

□

問二　――線②「かぜで寝こんだ」とありますが、かぜをひいた原因はどんなことだと考えられますか。次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□□□□□しか出ないほど□□ところで□□□□をしていたこと

問三　――線③「ほかにも、お母さんがたから、心配してなん回か電話がありました」とありますが、この話を聞いたときの「わたし」の気持ちをのべたものとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　お母さんたちはわたしたちのことを何もわかっていないな。
イ　早朝練習のことはひみつにしないといけないな。
ウ　お母さんたちに早朝練習を手伝ってもらおうかな。
エ　早朝練習を続けるわけにはいかないな。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線④「もうだめだ」とありますが、「わたし」はなぜそう思ったのですか。

問五　――線⑤「でも、やっとおさえた。言ってしまえば、ほんとうに、なにもかもだめになってしまいそうだ」とありますが、ここからわかる「わたし」の性格（せいかく）としてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　がまん強くものごとを進めていく強さを持っている。

イ　どんなことも、つい悪い方に考えてしまいがちである。

ウ　まじめで、いろんなことによく気がつく。

エ　考えるより先に、思いついたことをすぐに実行する。

問六　早朝練習に集まった女子の気持ちが一つになりかけていることがわかる一文を文中からさがし、その初（はじ）めと終わりの四字を書きぬきなさい。

〜

問七　この文章から読み取れる上田先生についてのべたものとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　生徒（せいと）のことを信用していない。

イ　生徒の自主性を重んじている。

ウ　生徒と友だちのようにつき合う。

エ　生徒との話し合いを大切にする。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十講・文学的文章⑥

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「もしもし、相沢(あいざわ)ですけど。ゆうすけくん、いますか？」

「もしもし、相沢可奈子(かなこ)といいますが、四年生のこうじくんを……」

「もしもし、あ、正男？　きょうはどうしたのよ。あしたは歌の練習するんでしょ？」

ふーっと、大きく息をはきながら、わたしは左手で顔をこすった。

かすかに汗(あせ)ばんでいる。

にぎりしめた受話器(じゅわき)も、いっしょに汗をかいている。

電話をかけたのは、これでなん人になるだろうか。

①クラスの名簿(めいぼ)から、男子の名前をひとつずつ消していきながら、わたしは、ふと思った。

②男子って単純(たんじゅん)なんだ……。

ひとりひとりと電話で話せば、

「うん、あしたは練習するよ」

「つい、カーッとなってしまって」

「みんなが帰りはじめたので、いっしょに帰ってしまった」

「斉藤(さいとう)が悪いんじゃないもんな」

ということになる。じつにすんなりと、あしたを約束してくれるのだ。わたしだったら、そんなにあっさりとうなずけるかどうか……。ま、男子のことは、よくわからない……。

さあ、もうひとがんばり！

そこへ、幸子から電話がかかってきた。

「カナ!?　なにのんびり長電話してるのよ。もう、

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ちっともつかまんないんだから。あのね、今、ひな子ん家(ち)に電話してね、おばさんと話したのよ。そしたらね」

と、ことばの洪水(こうずい)だ。

「おばさんをおしのけてひな子が出てきてね。熱がさがったので、あしたは学校に行くって。そしたら、またおばさんが出てきてね、なんとかひな子をとめてちょうだいって」

「それで、どうなったのよ」

わたしの息も、おもわずはずむ。

「うん、おばさんには、はいってかわゆく答えといてね。ひな子には、□って」

「わあ、よくやった」

「でしょ。そうそう、それからね、休んでる間に、効果的(こうかてき)な歌い方を思いついたって、ひな子が言ってる」

わたしも、負けずに早口で告(つ)げた。

「こちらもいいニュース。今、わたしは、クラスじゅうの男子に電話をかけてたのよ。あしたから歌の練習、またやるって」

「すごいっ。じゃ、わたし、女子に電話する」

③<u>幸子とわたしは、さよならも言わずに電話を切った</u>。

つぎの日の放課後、礼介(れいすけ)と哲也(てつや)、幸子とわたしは、理科室に急いだ。

④<u>きょうの練習場所は、だまってうしろの黒板にはりだしてきた</u>。

みんな、来てくれるだろうか……。

（高田桂子(たかだけいこ)『ふりむいた友だち』）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「クラスの名簿から、男子の名前をひとつずつ消していきながら」とありますが、これは何をしているのですか。次の［　］にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

［　　　　　　　　　］に電話して、あした［　　　　］をするようにさそっている。

問二　――線②「男子って単純なんだ」とありますが、男子のどんな様子に対してこう思ったのですか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　みんなでいるときと、ひとりでいるときは言うことがちがう様子

イ　自分の悪いところに気づいたときに、すぐにあらためようとする様子

ウ　もめごとがあってもわだかまりがなく、翌日は練習するとすんなり約束する様子

エ　とつぜんに電話してきた可奈子の言うことをあっさりと信じてしまう様子

［　　］

問三　［　］にあてはまることばとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　おばさんの言うことを聞きなさいよ

イ　絶対に休んじゃだめよ

ウ　あしたまた電話するよ

エ　熱がさがってから学校においでよ

［　　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線③「幸子とわたしは、さよならも言わずに電話を切った」とありますが、ここからどんなことがわかりますか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　二人が、おたがいのいい報告を聞いて、いっそう張り切っていること

イ　二人ともいそがしくて、相手のことにかまっているひまがないこと

ウ　二人が、喜びすぎて自分が何をしているのかわからなくなっていること

エ　二人ともこうふんしているので、相手の話をちゃんと聞いていないこと

問五　――線④「きょうの練習場所は、だまってうしろの黒板にはりだしてきた」とありますが、このときの可奈子の気持ちとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　自信まんまんの気持ち

イ　晴れ晴れとした気持ち

ウ　半ばあきらめた気持ち

エ　いのるような気持ち

問六　幸子と可奈子に共通する性格としてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　思いこみがはげしい。

イ　強がりである。

ウ　落ち着きがない。

エ　行動力がある。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

どどどっと、ろうかを走る音がひびいた。ひとかたまりになって女子がとびこんできた。

「たすけてー。こごえそう」

「さむーい、この部屋」

そのあとから、二、三人ずつ、のそのそと歩いてくるのは？　――男子だ。わたしたちのクラスの男子だ。背をまるめて、寒そうにやってくる。

礼介は、動きをとめ、ぽかんと口をあけた。

その礼介の前を、てれくさそうな、あるいは、気がつかないといった顔の男子が、ふたりまた三人と通りすぎる。①ストーブもない理科室の寒さは、クラス全員のはく息で、またたくまにやわらいだ。

礼介は、ぼーっとした赤い顔で、なんどもみんなの顔を見まわしている。②男子もまた、天井をながめたり、横をむいたり、おちつかなげなようすである。

とつぜん、礼介が、ぴょこんと頭をさげた。

「みんな、ごめんね」

おどろいたのは、男子全員だった。焼けた鉄がくんにゃりと曲がるように、みんなの表情が、たちまちゆるんだ。ばらばらと、男子が礼介をとりまいた。

「ぼくたちもごめんな」

「斉藤のせいにして、悪かったよ」

「ぼくたちみんなの問題だもんな」

礼介は、もう一度頭をさげた。

「ありがとう」

しばらく、わたしたちはうつむいていた。

今のこの空気、にがしてはならない……。

「優勝したい」

とつぜん、まのぬけた声を出したのが礼介でなかったら、わたしはにらみつけたにちがいない。

「ユーショー……？」

みんなも、すぐには漢字で理解できなかったらしい。しばらくして、おどろきの大合唱となった。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「むりだよ、斉藤」

「学年だけでも、とうていむりだよ」

「青木学級にはかないっこないもの」

「学校全体となると、よけいにだめだよ」

ひとしきりざわめいたあと、ぽつん、ぽつんと、つぶやき声が広がりはじめた。

「優勝かあ……」

「いいなあ……」

「うん、ほしいよなあ」

声の調子が、あこがれに近くなっていく。

「優勝しよう」

最後にそう言ったのは、哲也だった。

哲也は、セーターのなかから、なにかをひっぱりだした。もう暮れかけたうす暗い教室のなかで、にぶく光っているそれは、手づくりの指揮棒だった。蛍光塗料をぬったタクトだった。

みんな、はじけるように笑った。哲也をとりかこんでタクトをうばいあう。黄色いタクトが、生きもののように空間をはねまわっている。

わたしは今、ひとりではないと感じた。たしかに、手ごたえのようなものを感じた。

（高田桂子『ふりむいた友だち』）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「ストーブもない理科室の寒さは……またたくまにやわらいだ」とありますが、ここに表れていることとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　これから練習を始めるみんなの不安の大きさ

イ　寒い中で練習をしようとするみんなのがまん強さ

ウ　練習に集まってきたみんなの気持ちの温かさ

エ　試練をのりこえてきたみんなの喜びの大きさ

□

問二　――線②「男子もまた、天井をながめたり、横をむいたり、おちつかなげなようすである」とありますが、この様子の説明としてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　礼介とけんかしたばかりで、どう接すればいいかわからない。

イ　礼介が相変わらずえらそうなので、腹立たしさを感じている。

ウ　初めて女子といっしょに練習するので、はずかしがっている。

エ　練習には来たものの、寒いので早く帰りたがっている。

□

問三　クラスが一体となり、やくどう感が出てきたことが表されている一文を文中からさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

□□□□～□□□□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　この文章でえがかれている哲也についてのべた次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。また、□にあてはまることばとしてもっともよいものをあとのうちから選び、記号で答えなさい。

□□□□□□で練習するのに必要（ひつよう）な、□□□□をぬったタクトを□□□□してきたことには、哲也の□と優勝への強い気持ちが表れている。

ア　優（やさ）しさ　　**イ**　身勝手さ

ウ　不器用（ぶきよう）さ　　**エ**　まじめさ

□

問五　この文章から読み取れる礼介についてのべたものとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　すなおに自分の気持ちを出せる。

イ　何でも悪い方に考えるくせがある。

ウ　みんなを引っぱっていくリーダーシップを持っている。

エ　まわりの意見に流されやすい。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十一講・説明的文章⑤

◆主題・要旨をとらえる

文章を読む大きな目的は、主題を読み取ることにあります。何かについて説明した文章では、説明の中心的内容を、筆者の考えをのべた文章では、考えの中心的内容を、とらえることになります。

(1) 段落の内容をかくにんする。

全体の主題・要旨をとらえるためには、各部分での要点をとらえることが欠かせません。特に意味段落の内容はしっかり理解しておきましょう。

(2) 文章の組み立てをかくにんする。

文章の組み立てを明らかにすることによって、筆者が特にどの段落の内容をのべたいのかがわかります。

説明文は、次のような型にあてはまることが多いので、覚えておくと便利です。（序論＝話題をしめす、本論＝説明、結論＝言いたいこと）

① 序論―本論―結論
② 結論―本論
③ 結論―本論―結論

(3) 文章全体の主題・要旨をとらえる。

(1)・(2)に加え、文章全体のキーワード（しばしば出てくる重要なことば）や文章の題名を参考に主題・要旨をとらえます。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

9世紀のはじめころ、北ヨーロッパのフランク王国（いまのフランス地方）には、つぎのような法律(ほうりつ)がありました。「貴族(きぞく)*1や僧院(そういん)では、女たちがヒツジの毛をつむいだり、おりものを作るのに必要なものをたくわえておくこと」というのです。そして、①そのなかに、せっけんもはいっていました。このころのせんたくは、むかしながらの木灰(きばい)*2のしるを使い、貴重品であるせっけんは、もっぱら羊毛をあらうのに使われていたのです。フランク王国で作られたせっけんは、木灰と動物のあぶらを原料とした、②軟(なん)せっけんとよばれるやわらかいもので、いやなにおいがしました。

一方、南ヨーロッパのイタリアやスペインなどでは、８世紀ごろから、すでにせっけん職人(しょくにん)の組合がつくられていました。そして、ローマ時代からのせっけん作りの技術(ぎじゅつ)に、アラビア人の技術をくわえ、質(しつ)のよいせっけんを作りはじめていたのです。

これらの国ぐにでは、特産のオリーブの実からとれるあぶらと、海草を焼いた灰からせっけんを作りました。このせっけんは、③硬(こう)せっけんとよばれるかたいせっけんで、あつかいやすく、しかも、動物のあぶらを原料にしたせっけんとちがい、いやなにおいがありませんでした。さらに、12世紀ごろからは、各地でせっけん作りがさかんになり、香料(こうりょう)を入れたいいにおいのものまで作られ、ほうぼうの国に輸出(ゆしゅつ)されました。このような高級なせっけんは、おもに、貴族などのけしょうに使われたのでしょう。

16世紀になると、おりものがさかんになり、その仕上げに使われるせっけんは、ますますさかんに作られるようになりました。

このころになると、せっけんは、地方による特色がうすれ、④原料のアルカリ*3とあぶらが手に入るところなら、どこでもせっけんが作られるようになりました。こうして作られるせっけんは、色やにおいもいろいろです。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

この時代のせっけんの作りかたは、つぎのようなものでした。まず、生石灰という石の粉と、灰をまぜたものに水をくわえ、あくをとります（これは強いアルカリです）。さらに、もう一度水をくわえて弱いアルカリを作り、これにあぶらをくわえてにます。かたまり（せっけん）ができたところで、はじめにとった強いアルカリをあぶらの３倍の量だけくわえ、さらににつづけるのです。せっけんがうまくできているかどうかは、なめて調べます。あまい味がしたらアルカリを、ピリッとからかったらあぶらを追加すればよいのです。

さて、17世紀の後半、せっけんの製造で、大きな変化がありました。せっけんを作るとき、最後に食塩をくわえると、にじるが上下にわかれて、上にせっけんがあつまることがわかったのです。この方法を「⑤塩析」といいます。これにより、にじるのかすのまざらない、質のよいせっけんができるようになりました。（塩析は、現在でも、実験でせっけんを作るとき、また、一部のせっけん工場でも使われる方法です。）

（津田妍子『せんたくのはなし』）

＊１僧院＝キリスト教で、修道する人（僧）が共同生活するところ。
＊２木灰＝草木を焼いて作った灰。
＊３アルカリ＝酸を打ち消す性質をもつ物質。

問一　――線①「そのなか」とは、何のなかですか。文中から書きぬきなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　――線②「軟せっけん」と③「硬せっけん」のちがいをまとめた次の表の空らんにあてはまることばをそれぞれ書きなさい。

	原　料	かたさ	におい
軟せっけん	木灰と動物のあぶら	(2)	いやなにおいがする
硬せっけん	(1)	かたい	(3)

問三　――線④「原料のアルカリ」とありますが、どのようなものがアルカリとして使われましたか。次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□□□と□をまぜたものに□をくわえ、とった□□。

問四　――線⑤「塩析」とは、何をする方法ですか。もっともよいものを次のうちから選(えら)び、記号で答えなさい。

ア　時間をかけないでせっけんを作る方法

イ　にじるのかすがまざっていないせっけんを作る方法

ウ　あぶらをにないでせっけんを作る方法

エ　にじるがよくまざったせっけんを作る方法

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　次の(1)～(3)は、いつごろのことですか。

(1)　おりものの仕上げに使うためのせっけんがさかんに作られるようになった。

(2)　南ヨーロッパで、せっけん職人の組合がつくられていた。

(3)　各地でせっけん作りがさかんになり、ほうぼうの国に輸出された。

問六　この文章を、次の四つの意味段落（だんらく）に分けるとすると、どこで分けられますか。二番目、三番目、四番目の段落の初（はじ）めの四字をそれぞれ書きぬきなさい。

第一段落　むかしながらのせっけん

第二段落　質がよく、高級なせっけん

第三段落　いっぱん的になったせっけん

第四段落　せっけんの製造の大きな変化

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　この文章全体では、どんなことについてのべられていますか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　せっけんの性質
イ　せっけんの作り方
ウ　せっけんの原料
エ　せっけんの発達

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講・説明的文章⑥

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

5世紀のことです。アカイコという名の美しい少女が、川辺でせんたくをしていました。そこに天皇（てんのう）が通りかかり、アカイコに、宮中でめしかかえるから使いを待つようにいいました。ところがその後、いくら待っても宮中からの使いはきません。アカイコはそれでも待ちつづけ、とうとう80歳（さい）のおばあさんになってしまいました。――これは、いまから1300年ほどまえに書かれた『古事記（こじき）』という本にのっている物語で、日本でもっとも古いせんたくの記録です。日本では、いまから2000年ほどまえから布（ぬの）がおられるようになったといわれ、そのころには、川辺でせんたくをはじめていたと考えられています。

7世紀ごろになると、中国との交流がさかんになり、宮廷（きゅうてい）では絹（きぬ）おりものが多く使われはじめました。しかしこれは一部の人のことで、大部分の人たちは、麻（あさ）をはじめ、フジやアケビのつるなどでおった、ゴワゴワした布の服を着ていました。これらの布は、あらえばあらうほど白く、やわらかくなるので、せっせとせんたくされました。「ときあらい衣（ごろも）」ということばも古くからあり、日本ではむかしから、衣服をほどいてあらっていたことがわかります。これは衣服をそのまま丸あらいしていたヨーロッパのせんたくと大きくちがいます。

中国から井戸（いど）ほりの技術（ぎじゅつ）が入ってくると、せんたくは近くの井戸でおこなわれるようになり、①<u>さまざまなせんたく道具が生まれました</u>。12世紀ごろには、すでに、まるいたらいや、ひしゃく、手おけのほか、伸子（しんし）やきぬたも使われていました。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

伸子は、細長い竹の両はしに、はりをつけたもので、竹の弾力を利用して布のはばを広げ、のりをつけてしあげるのに使われます。布の長いほうの両はしは、はりのついた棒でとめます。この方法は、いまでも*1友禅染などに使われています。

　きぬたというのは、木のつちのようなものです。おったり、せんたくした布を、きぬたで打って、やわらかく、目をつまらせ、つや出しをするのです。明治のころまで、きぬた打ちの音は、ふだんの生活の中にひびいてくる音だったのです。②百人一首のカルタのなかにも「……ふるさとさむく　ころもうつなり」と、きぬた打ちのようすがえがかれています。また、室町時代にできた*2③謡曲にも「砧」というのがあり、夫の帰りを待ちながらきぬたを打つ女がえがかれています。

　江戸時代のなかば、18世紀ごろは平和な時代がつづき、16世紀ごろに④中国から入ってきたもめんが、やっとふつうの人びとにも着られるようになりました。また、衣服の種類や量も多くなり、せんたくをすることもぐっとふえました。

　このころのせんたくの方法は、おもに、たらいと井戸水を使ったもみあらいやふりあらいでした。たらいは、もちろん木で作られていて、いまから30年ほどまえに電気せんたく機が多く出まわるようになるまで使われたのと、ほとんどかわりないものが使われました。

　また、着物をといてあらったものを、戸板にはりつけてしあげる「板張り」も、この時代からおこなわれました。（伸子張りや、板張りしあげをするせんたくを「あらい張り」といい、現在でも高級な和服のせんたくでおこなわれています。）

　その後、20世紀になっても、せんたく板やせっけん、水道を使うようになったほかは、⑤江戸時代とほとんど同じ方法でせんたくしていました。

（津田妍子『せんたくのはなし』）

*1友禅染＝あざやかな色で文様をそめた布。

*2謡曲＝歌や舞を組みこんだ「能楽」とよばれる劇で使われる曲。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「さまざまなせんたく道具が生まれました」とありますが、このころ生まれたせんたく道具としてしょうかいされているものを文中から五つ書きぬきなさい。

□　□　□　□　□

問二　――線②「百人一首のカルタ」や③「謡曲」の中できぬたがえがかれていることから、どんなことがわかりますか。もっともよいものを次のうちから選(えら)び、記号で答えなさい。

ア　きぬたという当時としては新しいものが、多くの人の注目を集めていたこと

イ　むかしは、きぬたを打つ音以外に大きな音がするようなことがなかったこと

ウ　せんたくのときぎぬたで布を打つことは、当時の生活でありふれた光景だったこと

エ　きぬたが使われるようになってから現在まで、きぬたを打つ音には変化がないこと

□

問三　――線④「中国から……着られるようになりました」とありますが、それまでふつうの人びとはどんなものを着ていたのですか。次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□や、フジやアケビの□□などでおった、□□□□した布の服

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線⑤「江戸時代とほとんど同じ方法」とは、どんな方法ですか。

［　　　］

問五　この文章を、次の四つの意味段落（だんらく）に分けるとすると、それぞれの段落では、どんなことについてのべられていますか。次の［　］にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

第一段落　日本で［　　　　　］せんたくの記録

第二段落　［　　　］ごろの日本のせんたくの様子

第三段落　近くの［　　］で、さまざまな［　　］を使っておこなわれるようになったせんたく

第四段落　［　　］時代以降（いこう）のせんたく

問六　この文章全体では、どんなことについてのべられていますか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　日本のせんたくの歴史

イ　全国各地のせんたくのしかた

ウ　中国と日本のせんたくのちがい

エ　せんたくをあつかった物語や芸術（げいじゅつ）

［　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

せんたくというのは、①衣類のよごれをおとすことです。衣類のよごれは、衣服の種類、季節、場所などによっていろいろちがいます。みなさんの衣類には、どんなよごれがつくでしょうか？

上着の場合、食事の食べこぼし、絵の具、ほこり、ふけ、遊んだりころんだりしたときの土やどろなどのよごれがつきます。また、ジュースとか、インク、紅茶(こうちゃ)などがつくこともあります。下着には、からだからでるあせやあぶら、あかがつきます。

よごれた衣服は、空気の通りや湿気(しっけ)をすう力が弱いので、健康にわるく、不衛生(ふえいせい)で、しかも見た目にも不快(ふかい)です。よごれたまま時間をおくと、よごれはとれにくくなるし、においがしてくることもあります。ですから、こまめにせんたくをしなければなりません。

水は、むかしからせんたくに使われてきました。それというのも、水は、たやすく手に入り、さまざまなものをとかし、においや色がなく、自然にかわきあとにのこらないので、せんたくをするのにたいへん具合がいいからです。

水は、ほかの薬品とくらべても、いろいろなものをよくとかしますが、あぶらはとかしません。ところが、②衣類のよごれは、あぶらをふくんでいるものが多いのです。

なかのわるいことを「水とあぶらのようだ」といいますが、ここでひとつ実験をしてみましょう。

紙の上に、３㎝四方ぐらい、クレヨンをぬりつけます。その上に水を一滴(いってき)たらします。もう一滴、なにもぬってない紙の上にも水をたらしましょう。どうなりましたか？　クレヨンをぬったほうの水は、コロコロした玉になるでしょう。これは、クレヨンのなかのあぶらと、たらした水とがまじり合わないからです。

③このような水の性質(せいしつ)を、そのままにしておいては、あぶらをふくんだよごれをとることはできません。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

そこで、せっけんや合成洗剤を使って、水の性質をかえてせんたくをするのです。④（コロコロした水の玉に、食器あらい用の液体合成洗剤を１滴たらしてみてください。）

水にとかした洗剤は、つぎのようなはたらきをします。

１．あぶらを小さなつぶにして、水にとかす。（乳化）

２．せんたくものによくしみこんで、水にぬらす。（浸透）

３．水にとけないこまかいよごれを、水の中に散らばらせる。（分散）

４．とけたよごれが、ふたたびせんたくものにつかないようにする。（再汚染防止）

これらは、せんたくものと水のさかいや、よごれと水のさかいにはたらく作用なので、洗剤のことを〝界面活性剤〟ということがあります。（界面は、さかいめのこと。活性剤というのは、はたらきを活発にする薬のことです。）

水にとかす洗剤には、ちょうどよい量があります。この量は、洗剤の容器に書いてあり、たいていは、0.1％ぐらいの濃度（30リットルの水に30〜40ｇぐらい）で、ミセルとよばれる、目には見えない小さなものをかたちづくります。このミセルが界面活性剤のはたらきをするのです。そして、それより多くの洗剤をくわえても、⑤ミセルのはたらきはかわりません。必要以上に洗剤を使うのは、もったいないだけでなく、すすぎもたいへんだし、川や湖などをよごす原因になります。

（津田妍子『せんたくのはなし』）

＊濃度＝液体などのこさ。

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「衣類のよごれ」には、どんなものがありますか。次の二つに分けて書きなさい。

・上着につくもの

・下着につくもの

問二　――線②「衣類のよごれは、あぶらをふくんでいるものが多い」とありますが、このことからどんなことが言えますか。もっともよいものを次のうちから選(えら)び、記号で答えなさい。

ア　衣類のよごれは、こまめにせんたくしないととれにくくなるということ

イ　衣類のよごれには、水ではおとしにくいものが多くあるということ

ウ　衣類のよごれが、ほかのものをよごしてしまうことがよくあるということ

エ　衣類のよごれは、いろいろなよごれがたまってできたものであるということ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　――線③「このような水の性質」とは、どんな性質ですか。次の［　　］にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

［　　　］とまじり合わないという性質

問四　――線④「コロコロした水の玉に、食器あらい用の液体合成洗剤を１滴たらしてみてください」とありますが、液体合成洗剤をたらすとどうなると考えられますか。

［　　　］

問五　――線⑤「ミセルのはたらき」にあてはまらないものを次のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　こまかいよごれを水中に散らばらせる。
イ　せんたくものに水をしみこませる。
ウ　せんたくものをかわきやすくする。
エ　あぶらを水にとかす。

［　　］

問六　この文章では、どのような流れで説明がされていますか。次の（　）にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

せんたくとは、衣類の（　　　）をおとすことである
↓
（　　　）だけではうまくおちない
↓
（　　　）を使っておとす

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　この文章の説明のしかたをのべた次の【　】にあてはまることばとしてもっともよいものをあとのうちから選び、記号で答えなさい。

・せんたくのしくみを、【　】に説明している。

ア　大げさ　**イ**　大まか

ウ　芸術的（げいじゅつ）　**エ**　科学的

【　】

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十三講・文学的文章⑦

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

　ぼくがいるのはインドネシアの赤道直下の島、カリマンタン島（ボルネオ島）。

　ジャングルの中の小道にたたずみ、木の枝からぶら下がっている体じゅうに赤い毛をはやした動物、オランウータンの母子に①目を奪われている。

　ジャングルで暮らしているが、母親にはローズマリー、子どもにはリカという名前がついている。ローズマリーは子どもの頃、［ａ］人間に飼われていたのを保護されて、森に返されたオランウータンだ。

　だから今も人間をおそれない。ぼくの目の前で、木の葉をちぎって食べたり、枯れた木の枝を折って中にいるアリをなめとったりしてみせてくれる。

　一方、まだ一歳にもなっていないリカは、「絶対に離れるものか！」と決意したかのように、あちこち動きまわる母親の背中にきつく抱きついている。人間を気にするというより、もう必死で、それどころではないという感じ。

　そんなリカの努力を知ってか知らずか、ローズマリーは時時、食べる手を止めてリカを引き寄せ、毛づくろいをする。そして、太い枝に腰をかけ、手のようにものをつかむことができる足で体を固定すると、リカにおっぱいを飲ませる。

　長くのびた乳首を口の中に入れて、リカはうっとりとした表情を浮かべる。その顔つきは、お母さんに抱かれて［ｂ］しきった人間の赤ちゃんと同じだ。

　ただ、幸せそうなリカの姿を前に、②ぼくはふと複雑な気持ちになる。

　ぼくは目の前にいるリカと同じくらいの年で母親

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

から引き離され、日本に密輸(みつゆ)された四頭のオランウータンを知っている。

一九九九年六月、大阪(おおさか)のあるペットショップで起きた事件(じけん)のことだ。そのペットショップの経営者(けいえいしゃ)は逮捕(たいほ)され、四頭は一度は日本の動物園で飼われた後、ふるさとのカリマンタン島に帰ることになった。しかし、もう二度とリカのようにお母さんの体にしがみつくことはできない。

事件を知って、ぼくはさまざまな疑問(ぎもん)を抱(いだ)いた。オランウータンは絶滅(ぜつめつ)が心配されていて、輸入することは国際的(こくさいてき)な取り決めで禁止(きんし)されているそうだ。それなのに、どうしてオランウータンが日本に連(つ)れてこられたのか。

そもそも、いったいどんな人がオランウータンを飼いたがっているのか。

最近(さいきん)、日本では「ペットブーム」というのがあって、そのせいでさまざまな動物が日本に持ち込(こ)まれているらしいけれど、それは悪いことなのか。

そんなことを考え、いろいろ調べていくうちに、どうしても彼(かれ)らがやってきたふるさと、インドネシアのカリマンタン島に行かなければという気持ちになった。

ぼくはオランウータンという動物についてあまりたくさんのことを知らない。せいぜい、雑誌(ざっし)や本に書かれていることくらいだ。だから、ジャングルの中でオランウータンが暮らしている姿をこの目で確(たし)かめてみたくなったのだ。

そして今、ぼくはカリマンタン島にいる。

ジャングルの中で見るローズマリーとリカの母子の姿は、本当に幸せそうで、だからこそ、母親から引き離されてしまった四頭のことがどうしても頭に浮かぶ。

ただ、③ぼくの目には幸せそうに見えたこの母子も、決して「楽園」に暮らしているわけではないことを知る。

人間のペットだったローズマリーは、④「リハビリセンター」で訓練(くんれん)を受けて、森の中で暮らすことができるようになった。しかし、子育てが上手ではな

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

く、これまでに二回出産した赤ちゃんは両方とも死んでしまった。リカは今のところ順調に大きくなっているけれど、これから先はわからない。

　インドネシアでは、ローズマリーのように、人の手に渡るオランウータンがふえているという。カリマンタン島やお隣のスマトラ島には、人に捕らえられたオランウータンの子どもを森に帰すために訓練をする「リハビリセンター」がいくつかあるけれど、これらの施設はここ数年、何百頭もの子どものオランウータンで満員になっている。日本からの四頭もこの本が出版される頃には、こういった施設で訓練を受けているはずだ。

　結局、日本で起こっていることは、ふるさとのインドネシアでも起こっていたのだ。

　それも、もっと大がかりな形で。

　当然、ぼくはその理由を知りたくなった。

　再びいろいろ調べるうちに、その原因には、ぼくたちの国、日本がまた別の形でかかわっていることも見えてきた。どうやら複雑にからまりあった網の目のように、ぼくたちの社会とオランウータンは関係してきたようだ。たとえば、ぼくたちが日常生活で使っている紙や木材は、もとはといえば、オランウータンの森から切り出された木によって作られているかもしれない。

　そう、⑤オランウータンは、ぼくたち日本人と、知らない間に深いかかわりを持ってきた生き物なのだ。

　今までそれはあまり意識されていなかったけれど、そろそろそういったことをきちんと理解するべきだ。そして、ぼくたちがオランウータンたちに対して負っている「責任」について、そのうしろにあるもっと大きな問題について、考えなければならない。

（川端裕人「オランウータンに森を返す日」）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「目を奪われている」とありますが、この時の「ぼく」の様子を説明したものとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　あまりに衝撃的なできごとにショックを受けている。
イ　とてもほほえましい光景にひきつけられている。
ウ　たいへん珍しい様子に興味をもっている。
エ　ごくありふれたことにたいくつしている。

□

問二　［a］にあてはまることばとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　なにげない
イ　はしたない
ウ　気のない
エ　心ない

□

問三　［b］にあてはまることばとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　安心
イ　心配
ウ　興奮
エ　感心

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線②「ぼくはふと複雑な気持ちになる」とありますが、その理由としてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　日本で起きたオランウータンの事件を知って、さまざまな疑問が生まれ、気になってきたから。

イ　リカはもう二度とお母さんの体にしがみつくことができないと知っているから。

ウ　人間によって母親からむりやり引き離されてしまった、別(べつ)のオランウータンを思い出したから。

エ　リカが大阪のあるペットショップに連れ去られていたことを思い出したから。

問五　――線③「ぼくの目には……暮らしているわけではない」とありますが、ローズマリーとリカの幸せに不安(ふあん)があるのはなぜですか。

問六　――線④「リハビリセンター」は、何をするところですか。わかりやすく説明(せつめい)している部分を文中から三十二字でさがし、その初(はじ)めと終わりの四字を書きぬきなさい。

〜

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　――線⑤「オランウータンは……かかわりを持ってきた」とは、どういうことですか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　日本人が、もっともたくさんのオランウータンを密輸して、オランウータンを絶滅させようとしているということ

イ　日本の「ペットブーム」のせいで、さまざまな動物が世界中から日本に持ち込まれて苦しんでいるということ

ウ　日本人が紙や木材を使うために、オランウータンの森を破壊（はかい）しているかもしれないということ

エ　日本は「リハビリセンター」を作るために、多額（たがく）のお金を出しているということ

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十四講・文学的文章⑧

一題目 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

わたくしたちは、「美しい」ということばが大すきです。「美しい人生」「美しい愛」などと、美しさをもつことをのぞんでいます。

でもほんとのところ、その美しさの意味について、あまり深く考えていないのではないでしょうか。

美しい景色をみて思わず、「きれいね」と口にでて、たのしい思いになる、それでもう十分とも思いますが、そのたのしい思いにさせてくれるものの姿を、たしかめてみましょう。

美しいものと、美しくないものと、わたくしはいま自分の部屋を見まわして、よりわけてみました。

①机の上のペン皿にあるえんぴつ、何本かのえんぴつの中で美しく目にうつるのは、けずりたてのえんぴつです。シンがまるくなったり、折れたままのは美しいとは思えません。

お皿に盛ったバナナは、あざやかな黄の色をしていて美しい。でも実を食べてしまった皮は、皮になった瞬間に、もう美しいとは思えませんし、色もまたたちまち黒ずんできたなくなってしまいます。

けずりたてのえんぴつが美しく目にうつるのは、「どうぞ、いつでもすぐに使えますよ」と、すぐに役にたつ姿を見せてくれているからでしょう。

バナナの皮も、中に実をつつんでいるという、使命をもっているときは美しいのですが、その使命が終わって皮だけになった瞬間に美しくなくなります。

こうしたことを思うと、人に心よい感動をあたえる美しさとは、そのものが役にたつという姿を見せているところにあるのではないかと思われます。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

花が美しい、木々が美しいというのは、その命の美しさを感じるところにあります。命とは活動することであって、[A]、役目をはたしている姿です。花も木も、せいいっぱいに生き、そして自分たちの子孫を永続させるために、花を咲かせ、実をならし、その命を充実させて、活動しているのです。

わたくしたちは働く人を美しいと見ます。どんなにどろんこでも、汗みどろでも、働く姿は美しい。どろんこも、汗も、働く姿の美しさを引きたてます。これは、働くという行為が、活動そのものであり、役だつ使命をはたすことであり、汗もどろんこもまた、そのためにあるからです。

[B]、働くことをやめて、食卓にむかったときの、汗みどろ、どろんこは、きたない、もう美しくは目にうつりません。このときの、どろんこや汗は、労働という中味をとってしまったあとの残りもの、（ａ）みたいな存在になってしまったからでしょう。食事をするという行為に、どろんこは不要です。そこで、きれいにさっぱりと洗いおとさなければなりません。

ですから、同じものでも、そのものが、そのものとして役に立たない場所にあるときは、美しく目にうつりません。

髪の毛は、髪にあるから美しい。②ぬけおちた髪の毛が、食物の中にでもはいっていたら、とてもゆううつです。

＊1ショーウィンドーの商品がみな美しく見えるのは、「このとおり、役にたちますよ」と、＊2マネキンに着せてみせたりして、たのしく、わかりやすく飾られてあるからでしょう。

わたくしたちのおしゃれや、動作、マナーなども、その場にふさわしく、役にたつかたちであるとき、美しく見えるのです。

急ぐときは、きびきびした動作が美しく、人にものをたずねるときは、その人に教わるという気持をあらわすのに必要な＊3謙虚な動作、教えるときは相手によくわかるようにする動作が、気持よく美しくうつります。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ここでひとこと、気づいたことをいいそえますと、必要と実用とは少しちがいます。

[C]道を教わるとき、わたくしたちは、「すみませんが」ということばをそえますが、（　ｂ　）という面からいうと、このことばはなくてもよいわけです。「東京駅はどっちですか？」といえば、用はたせます。でも、それでは③ぶっきらぼうです。「すみませんが」といいそえることで、心のあたたかみが伝(つた)わります。「どうぞお茶をお飲みください」のときの「（　ｃ　）」も同じで、こうしたやさしさがあって、ことばも、動作も美しくなります。

「必要」と「実用」とを、どうぞ、まちがえないでください。

わたくしたちが生きてゆく上では、実用的(じつようてき)な衣(い)・食・住のほかに、遊ぶことも、たのしむことも、安らぐことも必要です。そうした精神的(せいしんてき)に必要なものとして、やさしさや美がつくりだされています。

（高田敏子(たかだとしこ)「詩の世界」）

＊１ショーウィンドー＝商店やデパートなどで、品物をかざるために店先に作ってあるまど。

＊２マネキン＝商品を着せて店にかざる人形。

＊３謙虚＝いばらないで、つつましく、すなおな様子。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　[　]A〜Cにあてはまることばとしてもっともよいものを次のうちから選(えら)び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　それで　**イ**　でも
ウ　ところで　**エ**　つまり
オ　たとえば　**カ**　また

A[　]　B[　]　C[　]

問二　――線①「机の上の……えんぴつです」とありますが、「けずりたてのえんぴつ」を美しく感じるのはなぜですか。文中から十九字で書きぬきなさい。

問三　（　a　）にあてはまることばを、これより前の部分からさがし、五字で書きぬきなさい。

問四　――線②「ぬけおちた髪の毛が、食物の中にではいっていたら、とてもゆううつです」とありますが、その理由としてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　髪の毛がぬけてしまったことがショックだから。

イ　髪の毛を食物の中からとりのぞく手間がかかるから。

ウ　食物の中は髪の毛がある場所にふさわしくないから。

エ　美しい髪の毛は美しくない食物と合わないから。

[　]

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　（　ｂ　）には、「必要」「実用」のどちらのことばがあてはまりますか。あてはまることばを書きなさい。

問六　――線③「ぶっきらぼう」の意味としてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　あいそがないこと

イ　はっきりしないこと

ウ　うっかりすること

エ　悪い行いをすること

問七　（　ｃ　）にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

問八　筆者は、「美しさ」や「やさしさ」は人間にとってどのようなものだと言っていますか。文中から九字で書きぬきなさい。

問九　この文章の内容（ないよう）にあてはまるものを次のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　花が美しいのは人を楽しませる役目をはたすからだ。

イ　実用的なことばや動作は、人に美しいと感じさせる。

ウ　汗をかいて働く人のほうが、汗をかかないで働く人よりも美しい。

エ　その場にふさわしく役にたつおしゃれは、美しく見える。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十五講・詩

◇詩とは

詩の題材は、自然の風景やさまざまなできごと、作者の感じたことや思ったことなどです。詩では、それらのことを表現するときに、いちばんぴったりなことばを選びぬいているので、詩を読むときは、そのことばを味わい、意味を深く考えて読むことが大切です。

◇詩の特色

①　行　ふつうの文章とはちがって、文のとちゅうでも行をかえます。また、文のとちゅうで行をかえず、ふつうの文章のような形式で書く詩もあります。

②　連　ふつうの文章での段落にあたるものです。一つのまとまった内容を表します。連と連の間は、ふつう、一行あけます。

③　表現上のくふう　短いことばで感動を表現するためにさまざまなくふうが用いられます。

・たとえ…何かにたとえて様子や感じを表す。

例 羊のような雲
（「ような」を使ってたとえる〈直喩〉）
息がこおる
（「ような」を使わずにたとえる〈隠喩〉）

・擬人法…人でないものを人にたとえる。

例 光がおしゃべりしている

・省略法…ことばをはぶいて、印象を強める。

・倒置法…ことばの順序を入れかえて、感動を強める。

例 どうだろう　この沢鳴りの音は

・対句法…リズムや意味のにている行をならべる。

例 太郎を眠らせ、太郎の屋根に雪降り積む
次郎を眠らせ、次郎の屋根に雪降り積む

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

・くり返し…同じことばや行をくり返してリズムを生み、感動を強める。

例この遠い道程のため　この遠い道程のため

◇詩の読み方・味わい方

①　ことばのリズムを味わう　声に出して何度も読み、リズムをとらえます。

②　情景をとらえる　詩にえがかれている風景や、作者の位置を読み取り、情景を豊かに想像します。

③　感動をとらえる　作者が何に感動してこの詩を作ったのか、この詩でうったえたいことは何かをとらえます。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

水たまり

宍倉（ししくら）さとし

水たまりって　いいな
いつも　ねそべって
　　いられてさ

水たまりって　いいな
いつも　空をながめて
　　いられてさ

水たまりって　いいな
いつも　雲とはなして
　　いられてさ

問一　この詩は全部でいくつの連（れん）からできていますか。漢数字で答えなさい。

□連

問二　――線部「水たまりって　いいな」とありますが、水たまりのどんなところを「いいな」と感じていますか。三つ書きなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　この詩で、作者がいちばん伝(つた)えたかった気持ちを表している一行を詩の中から書きぬきなさい。

問四　この詩で使われている表現(ひょうげん)のくふうにあてはまるものを次のうちからすべて選(えら)び、記号で答えなさい。

ア　「〜ような」を使ってたとえている。
イ　「〜ような」を使わずにたとえている。
ウ　人でないものを人に見立ててたとえている。
エ　ことばをはぶいて、印象(いんしょう)を強めている。
オ　ことばの順序(じゅんじょ)を入れかえて、感動を強めている。
カ　リズムや意味のにている連をならべている。

問五　この詩から受ける感じとして、もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　暗くしずんだ感じ
イ　にぎやかでふざけた感じ
ウ　明るくほのぼのとした感じ
エ　静(しず)かでしんみりした感じ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

つらら

佐々木(ささき)　たづ

ひさしの下から　つららがはえて
地面へむかって　グングンのびる
屋根の雪が　日なたぼっこして
うっかり水に　もどったものも
みんな集めて　つららは①育つ
つららって　こんなにはば広いものか
上は広くて　下とがってて
まるで氷の三角剣(さんかくけん)
あれでつららは　グングンのびて
グサリと地面を　さすつもりだろうか
すると　つららが　ニヤリとわらい
グサリとさすなんて　そんなことしないよ
おれたちみんな　なかまだからな
今は冷(つめ)たい　②こわいかおしてるが
③冬のあいだの　かりのすがただ
春になったら　谷川で会おう
夏になったら　湖で会おう
富士山(ふじさん)うつして　待っているって
④ああ　夏が待ちどおしい

問一　――線①「育つ」とありますが、これと同じ意味で使われていることばを詩の中から三字で書きぬきなさい。

問二　――線②「こわいかおしてる」とありますが、これはつららのどんな様子を表していますか。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　――線③「冬のあいだの　かりのすがただ」とありますが、つららのもとのすがたは何ですか。

問四　――線④「ああ　夏が待ちどおしい」とありますが、これは、だれがどんな気持ちで言ったことばですか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　作者が、寒い冬も終わって、湖で遊べる夏が早く来ないかと、楽しみにしている。

イ　作者が、こわいつららが消える夏が早く来ないかと、楽しみにしている。

ウ　つららが、なかまと湖で会える夏が早く来ないかと、楽しみにしている。

エ　つららが、もとのすがたにもどって、湖で富士山をうつせる夏を、楽しみにしている。

問五　作者は、つららを何にたとえていますか。

問六　詩の中に、つららが話しているように書かれている部分があります。それはどこからどこまでですか。初めと終わりの五字を書きぬきなさい。

□□□□□　～　□□□□□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三題目　**次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。**

素直な疑問符　　吉野弘

小鳥に声をかけてみた
①小鳥は不思議そうに首をかしげた。

わからないから
②わからないと
素直にかしげた
あれは
自然な、首のひねり
てらわない[*1]美しい疑問符[*2]のかたち。

時に
風の如く[*3]
耳もとで鳴る
意味不明な訪れに
私もまた
③素直にかしぐ、小鳥の首でありたい。

＊1てらわない＝気どってみせない。
＊2疑問符＝疑問を表す「?」の記号。クエスチョン・マーク。
＊3如く＝……ように。

問一　——線①「小鳥は不思議そうに首をかしげた」とありますが、このすがたを作者は何と表現していますか。詩の中から十五字で書きぬきなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　――線②「わからない」とありますが、何がわからないのですか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　自分の前に何があるのか
イ　何と声をかけられたのか
ウ　作者がだれであるのか
エ　作者が何をしているのか

問三　――線③「素直にかしぐ、小鳥の首でありたい」にこめられた作者の思いとして、もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　知ったふうをよそおうことなく、正直でありたいという思い
イ　いくつになっても人からかわいいと言われたいという思い
ウ　他人の意見にまどわされず、自分を信じたいという思い
エ　自分の耳に入るさまざまな音にびん感でありたいという思い

問四　この詩についてのべたものとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　小鳥のすがたを通して、作者の思いを表している。
イ　同じことばをくり返し、速く力強いリズムを目立たせている。
ウ　ことばをはぶいて、意味をあいまいにぼかしている。
エ　ことばの順序をふつうと入れかえて、作者の迷いを強調している。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十六講・文の組み立て

文を組み立てていることばには、主語・述語（じゅつご）・修飾語（しゅうしょくご）などがあります。

◆主語

「何が（は）」「だれが（は）」にあたることばを主語といいます。

例（れい）　わたしは（主語）　図書館へ　行った。

◆述語

「どうする」「どんなだ」「何だ」「ある（いる／ない）」にあたることばを述語といいます。

例　ウグイスが　美しい　声で　鳴いた。（述語）

◆修飾語

「いつ」「どこで」「どんな」など、主語や述語をくわしく説明することばを修飾語といいます。

例

・大きな（修飾語）　木が（主語）　わさわさ（修飾語）　ゆれた。（述語）

・花だんに（修飾語）　きれいな（修飾語）　花が（主語）　たくさん（修飾語）　さいた。（述語）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1 次の各文（かくぶん）の主語と述語と修飾語を書きなさい。

(1) 月がとてもきれいだ。

主語 [　　]　述語 [　　]

修飾語 [　　]

(2) ひよこがピヨピヨ鳴いた。

主語 [　　]　述語 [　　]

修飾語 [　　]

(3) わたしの姉は、中学生だ。

主語 [　　]　述語 [　　]

修飾語 [　　]

(4) おいしいね、このケーキは。

主語 [　　]　述語 [　　]

修飾語 [　　]

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2 次の各文の――線部のことばが修飾していることばを書きなさい。

(1) わたしは、新しいノートに名前を書いた。

(2) パトカーが駅前の交差点（こうさてん）を左に曲がった。

(3) 弟は、川でアユを三びきつった。

(4) わたしは、エレベーターで八階に上がった。

(5) 今日、ぼくたちは学校のプールで泳いだ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

◆文の組み立て

文の基本（きほん）の型は、次の四つがあります。

（１）何が（は）　どうする。

例（れい）
・花が　さく。
・雨が　ふる。

（２）何が（は）　どんなだ。

例
・風が　強い。
・世界は　広い。

（３）何が（は）　何だ。

例
・これは　チューリップだ。
・ぼくは　四年生だ。

（４）何が（は）　ある（いる／ない）。

例
・りんごが　ある。
・犬が　いる。
・本が　ない。

※文が長くなっても、その多くが基本の四つの型のどれかにあたります。

例
・クラスのみんなが大声で笑（わら）う。
→何が（は）　どうする。
・先生の話は、とてもおもしろい。
→何が（は）　どんなだ。
・ぼくの兄は、今年中学生だ。
→何が（は）　何だ。
・読みたい本がたくさんある。
→何が（は）　ある（いる／ない）。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1 次の文の型は、あとのどれにあたりますか。記号で答えなさい。

(1) 犬がほえる。

(2) 父は会社員だ。

(3) 空が青い。

(4) ケーキがある。

(5) となりの教室がとてもにぎやかだ。

(6) かれはクラス対こうリレーの選手（せんしゅ）だ。

(7) 妹は、おこられるとすぐに泣（な）く。

(8) ぼくには、弟が二人いる。

(9) ぼくは、おこづかいで本を買った。

ア 何が(は)　どうする。

イ 何が(は)　どんなだ。

ウ 何が(は)　何だ。

エ 何が(は)　ある（いる／ない）。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2

あとの(1)～(7)の文について、

①四つの文の基本の型のどれにあたりますか。それぞれ記号で答えなさい。

ア　何が（は）　どうする。

イ　何が（は）　どんなだ。

ウ　何が（は）　何だ。

エ　何が（は）　ある（いる／ない）。

②文の主語と述語をそれぞれ書きなさい。

(1)　兄はサッカーの選手だ。

①文の基本の型 □

②主語 □

述語 □

(2)　はげしい風もふきつけた。

①文の基本の型 □

②主語 □

述語 □

(3)　梅（うめ）のかおりがただよう。

①文の基本の型 □

②主語 □

述語 □

(4)　この物語はとてもおもしろかった。

①文の基本の型 □

②主語 □

述語 □

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(5) ひきだしの中にしまっておいた本がない。

①文の基本の型

②主語

述語

(6) ぼくの好物(こうぶつ)は魚料理だ。

①文の基本の型

②主語

述語

(7) 川の流れがゆるやかだ。

①文の基本の型

②主語

述語

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十七講・ことば

◆慣用句（かんようく）

二つ以上の語が結びついて、全体である特別の意味を表すことばを慣用句といいます。

例（れい）　油を売る……むだ話などをして、仕事をなまける。

へそを曲げる……きげんを悪くする。

さじを投げる……見こみがないとあきらめる。

水に流す……それまでのもめごとなどを、なかったことにする。

慣用句には、体の一部分を表すことばを使ったものがたくさんあります。

例

耳
- 耳がいたい……欠点などを言われて、聞くのがつらい。
- 耳をかたむける……熱心に聞く。
- 耳にはさむ……ぐうぜんに、ちらっと聞く。

手
- 手があく……仕事の区切りがついて、ひまになる。
- 手がかかる…世話がやける。
- 手を切る……関係をなくする。

顔
- 顔から火が出る……とてもはずかしくて、顔が赤くなる。
- 顔にどろをぬる……めいよをきずつけて、はじをかかせる。
- 大きな顔をする……いばったり、えらそうにしたりする。

目
- 目にあまる……あまりにひどくて、だまって見ていられない。
- 目をかける……特にかわいがってめんどうをみる。
- 目がきく……ものごとを見きわめる力がある。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1 次の――線部のことばはどんな意味で使われていますか。あとから選び、記号で答えなさい。

(1) テストで満点を取ったことを鼻にかける。 □

(2) 宿題の算数の問題に手をやく。 □

(3) 都合が悪いことを聞かれて、お茶をにごす。 □

(4) これまでのことを反省して、えりを正す。 □

(5) 予想外のできごとが起きて、あわを食う。 □

ア　うまくいかないで苦労する。
イ　その場をうまくごまかす。
ウ　気持ちを引きしめる。
エ　びっくりして、あわてる。
オ　じまんする。

2 次の□に体の一部分を表す漢字一字を書き入れ、慣用句を使った文を完成させなさい。

(1) 兄は□に衣を着せずに、ものを言う。

(2) かりていたお金を□をそろえて返す。

(3) のどから□が出るほどほしい本がある。

(4) □が広い父は、毎年、年賀状がたくさんとどく。

(5) あの人は□がかたいので、みんなに信らいされている。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3　□には、「手」または「足」が入ります。それぞれグループに分けましょう。

ア　□をぬく…仕事などをいいかげんにやる。

イ　□が出る…用意していたお金では足りなくなる。

ウ　□があく…仕事がすんでひまになる。

エ　□をあらう…悪い仕事や行いをやめてまじめになる。

オ　□を打つ…手段（しゅだん）や方法を考え、前もって用意する。

カ　□を引っぱる…ひとの行動のじゃまをする。

キ　□をぼうにする…歩きまわってひどくつかれる。

ク　□につかない…ほかに気になることがあって集中できない。

ケ　□に入れる…自分のものにする。

コ　□を運ぶ…わざわざ出かけて行く。

サ　□にあまる…自分の力ではどうすることもできない。

「手」が入るもの　□

「足」が入るもの　□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

◆ことばの意味

文章を読んでいて、むずかしいことばが出てきた場合、文や前後の文章の意味を考えると、そのことばの意味がわかることがあります。漢字が使われている場合は、漢字の意味を手がかりにして考えます。考えても意味がわからないことばは、国語辞典を引いて調べ、二つ以上の意味のある場合は、使われている文に合った意味を選びましょう。

例・長年の念願がかなってうれしい。

「念」は「考え・心」という意味で、「願」は「願い」という意味であることから、「念願」とは「いつも心にかけて願っていること」という意味であると考えられます。

・ぼくたちは、森の中にかっこうのかくれ家を見つけた。

「かっこう」には①「すがた・形」という意味と、②「ちょうどよいぐあい・ふさわしい」という意味があります。――線部の前後のことば〝森の中〟〝かくれ家〟に注目して、どちらの意味で使われているのかを考えます。この場合は②の意味です。

◆ことばの使い方

一語でいくつかの意味をもつことばがあります。文中での使い方を考え、どんな意味で使われているのかを正しくとらえましょう。

例　かよう

- 学校にかよう道……いつも行き来する。
- 心がかよう……つうじる。
- 全身に血がかよう……とどまらずに流れる。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1 次の――線部のことばに合う意味を選び、記号で答えなさい。

(1) からだに変調（へんちょう）をきたした。
ア 音楽の調子が変わること
イ ぐあいがいつもとちがうこと

(2) 先祖伝来（せんぞでんらい）の土地を守る。
ア 古くから受けつがれてきたこと
イ 外国から伝わってくること

(3) 話をさえぎる。
ア じゃまをする。
イ 間をへだてる。

(4) 寒さをしのぐ。
ア ほかよりすぐれている。
イ がまんして、切りぬける。

---

2 次の――線部のことばの意味をア～ウから選び、記号で答えなさい。

(1)
① 旅に出る。
② 校庭に出る。
③ 月が出る。
ア 内から外へ行く。
イ 出発する。
ウ あらわれる。

①　②　③

(2)
① ぼうしをとる。
② 受話器（じゅわき）をとる。
③ 宿をとる。
ア 予約（よやく）する。
イ ぬぐ。
ウ 手に持つ。

①　②　③

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3 次の――線のことばの意味としてもっともよいものをあとから選び、記号で答えなさい。

(1) かいらん板をとなりの家に回す。
(2) ひもの上でこまを回す。

ア くるくる回転させる。
イ 順番(じゅんばん)に送る。

(1) □
(2) □

(3) つくえの角にひじをぶつけた。
(4) 君のことばには角があるね。
(5) 次の角を左折(させつ)してください。

ア おだやかでないこと
イ とがった部分
ウ 曲がり目

(3) □
(4) □
(5) □

(6) ぼくたちのしょうらいは明るい。
(7) 父は、町の歴史(れきし)に明るい。
(8) 妹は明るいせいかくだ。
(9) この部屋はまどが大きくて明るい。

ア 光が十分にある
イ ほがらかである
ウ 期待が持てる
エ よく知っている

(6) □
(7) □
(8) □
(9) □

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4 次の(1)〜(5)の□にあてはまることばとしてよいものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) 両チームが□をけずって戦った。

(2) 事の成り行きを□をのんで見守った。

(3) やっとのことで仕事の□がついた。

(4) ぶあいそうな返事で、取りつく□もない。

(5) 交通事故（じこ）を□のあたりに見て青ざめた。

ア かたず　**イ** めど　**ウ** 目（ま）　**エ** しのぎ　**オ** 島

(1) □　(2) □　(3) □　(4) □　(5) □

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十八講・漢字

◆同訓異字（どうくんいじ）

同じ訓で意味や漢字のちがうものを同訓異字といいます。意味のちがいに注意して、正しく使い分けましょう。

・あつい
- 暑い　暑い日。
- 熱い　熱いコーヒー。

・あう
- 合う　気が合う。
- 会う　駅で友人に会う。

・おう
- 追う　兄のあとを自転車で追う。
- 負う　責任（せきにん）を負う。

・きる
- 切る　電話を切る。
- 着る　寒いので服を着る。

・なおる
- 治る　病気が治る。
- 直る　こわれていた自転車が直る。

・なく
- 泣く　赤ちゃんが泣く。
- 鳴く　すずめが鳴く。

・のぼる
- 上る　川を上る。
- 登る　山に登る。

・まわり
- 周り　家の周りで遊ぶ。
- 回り　火の回りが早い。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1 次の読み方の漢字を□に書きなさい。

(1) かえ-す
① 弟を先に家へ□す。
② 図書館へ本を□す。

(2) か-わる
① そうじ当番を□わる。
② 信号の色が□わる。

(3) はな-す
① 池にコイを□す。
② おもしろおかしく□す。

(4) はや-い
① 朝が□い。
② 足が□い。

(5) あ-ける
① 旅行のため、五日間家を□ける。
② 店を毎朝八時に□ける。
③ つゆがようやく□ける。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2 次の――線部のかたかなのことばをそれぞれ漢字で書きなさい。

(1)
① 服にしがみツく。
② 席にツく。

①［　］　②［　］

(2)
① 駅で友人にアう。
② 意見がアう。

①［　］　②［　］

(3)
① 荷物をたなにアげる。
② けっこん式をアげる。

①［　］　②［　］

(4)
① ポチが子犬をウむ。
② よい作品をウむ。

①［　］　②［　］

(5)
① 家の方向をサす。
② 刀をこしにサす。

①［　］　②［　］

(6)
① 夜がアける。
② まどをアける。

①［　］　②［　］

(7)
① 時間をハカる。
② 体重をハカる。

①［　］　②［　］

(8)
① こわれた車をナオす。
② けがをナオす。

①［　］　②［　］

◆同音異義語（どうおんいぎご）

同じ音で意味や漢字のちがうものを同音異義語といいます。意味のちがいに注意して、正しく使い分けましょう。

・カンシン
- 感心　感心な行い。
- 関心　政治（せいじ）に関心を持つ。

・キカイ
- 機械　せいみつな機械。
- 機会　またとない機会。

・キョウリョク
- 協力　みんなで協力する。
- 強力　強力な味方があらわれる。

・サイシン
- 最新　最新のパソコンを買う。
- 細心　細心の注意をはらう。

・ジシン
- 自信　自信を持つ。
- 自身　自分自身で考える。

・ショウスウ
- 小数　小数点をつける。
- 少数　少数意見も大切にする。

・シンチョウ
- 身長　身長をはかる。
- 新調　洋服を新調する。

・メイアン
- 名案　名案がうかぶ。
- 明暗　試合の明暗を分ける。

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1　次の――線部のかたかなのことばを漢字に直したものとして正しいものをあとから選（えら）び、記号で答えなさい。

(1) 世界でサイショウの国。
　ア　最小
　イ　最少
　□

(2) ストーブにテンカする。
　ア　点火
　イ　天下
　□

(3) 雨の中で運動会をケッコウした。
　ア　血行
　イ　決行
　□

(4) 予定をショウカする。
　ア　消化
　イ　消火
　□

2　次のかたかなのことばを漢字で書きなさい。

(1) ジテン
　① 百科［　　］で鳥について調べる。
　② 国語［　　］でことばの意味を調べる。

(2) イガイ
　① ［　　］な結果におどろく。
　② 水［　　］は飲まないように。

(3) カイテン
　① 頭の［　　］がはやい。
　② 駅前の花屋は十時に［　　］する。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(4) シンコウ

① 会議が[　　]する。

② 友だちとの[　　]を深める。

ア 工学　イ 高額　ウ 向学

3 次の――線部のかたかなのことばを漢字に直したものとして正しいものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1)

① 自分のシメイを書く。

② 先生からシメイされる。

ア 指名　イ 氏名　ウ 使命

(2)

① コウガク心にもえる。

② 土木コウガクを学ぶ。

(3)

① タイキがおせんされている。

② 救助隊（きゅうじょたい）がタイキする。

ア 待機　イ 大器　ウ 大気

(4)

① 親孝行（こうこう）な少年にカンシンする。

② 植物にカンシンを持つ。

ア 関心　イ 感心　ウ 寒心

(5)

① キタイにこたえて優勝（ゆうしょう）する。

② 水がじょうはつしてキタイになる。

ア 機体　イ 気体　ウ 期待

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(6)

① りっぱな作家としてコウセイに名を残す。 □

② テストの採点（さいてん）はコウセイに行われる。 □

ア　公正　イ　校正　ウ　後世

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十九講・類義語　対義語

◆類義語

意味が同じか、よくにていることばを類義語といいます。

例
- 生活／くらし
- 全員／みんな
- 天候／気候
- 進歩／向上

右の例のように、類義語には熟語ではないものもありますが、多くは二字熟語に見られます。二字熟語の類義語には、次の二種類があります。

(1) 一字だけちがう組み合わせ

例
- 衣服／衣類
- 見物／見学
- 最高／最上

(2) 二字ともちがう組み合わせ

例
- 短所／欠点
- 方法／手段
- 心配／不安

意味がほとんど同じでも、使い方がちがう場合があるので気をつけましょう。

- ○ 本を立ち読みしてしかられた。
- × 書物を立ち読みしてしかられた。

- ○ チームの勝利に希望がもてそうだ。
- × チームの勝利に願望がもてそうだ。

- ○ 体育の授業を見学する。
- × 体育の授業を見物する。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1 次のことばの類義語を選（えら）び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) 用心
ア 安心　**イ** 注意　**ウ** 用意

(2) 決心
ア 決意　**イ** 対決　**ウ** 決行

(3) 重要
ア 重点　**イ** 必要　**ウ** 大切

2 次のことばの類義語をあとの［　］の中から選び、それぞれ漢字で書きなさい。

(1) 発明
(2) 命中
(3) 平等
(4) 手紙
(5) 好意
(6) 意外

ショメン　アンガイ　シンセツ
テキチュウ　コウヘイ　ハッケン

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3 次のことばの類義語を選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) 立身
ア 出世　イ 自身　ウ 自主

(2) 美点
ア 欠点　イ 長所　ウ 美味

(3) 方角
ア 角度　イ 方法　ウ 方位

(4) 自然
ア 天然　イ 平然　ウ 自明

(5) 所持
ア 場所　イ 所有　ウ 持参

4 類義語の組み合わせとなるように、□にあてはまる漢字を書きなさい。

(1) 海外＝外□

(2) 本式＝□式

(3) 真実＝□実

(4) 心配＝不□

(5) 日中＝□間

(6) 身内＝□類

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

◆対義語（たいぎご）

たがいに意味が反対になっていることばや、「昼」と「夜」、「男」と「女」のように意味が向かい合わせになっていることばを対義語といいます。

・反対の意味になっていることば

例　出席↔欠席　当選↔落選
　　失敗↔成功　生産↔消費

・意味が向かい合わせになっていることば

例　父親↔母親　兄弟↔姉妹
　　東洋↔西洋　北極↔南極

対義語の構成（こうせい）には次のような種類があります。

(1) 漢字一字が対（つい）になっているもの

例　右↔左　生↔死

(2) 二字熟語の一字は同じで、一字が対になっているもの

例　登校↔下校　長所↔短所

(3) 二字熟語全体で対義語になっているもの

例　全体↔部分　原因（げんいん）↔結果

(4) 「不」「無」「未」「非（ひ）」などの打ち消しを表す漢字が付いて、対義語になっているもの

例　満足（まんぞく）↔不満　有名↔無名
　　決定↔未定　通常（つうじょう）↔非常

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1 次のことばの対義語を選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) 全体
ア 最小　イ 部分　ウ 全部　［　］

(2) 自然
ア 天然　イ 都会　ウ 人工　［　］

(3) 長所
ア 美点　イ 短所　ウ 急所　［　］

(4) 勝利
ア 敗北　イ 勝負　ウ 有利　［　］

---

2 次のことばの対義語を漢字で書きなさい。

(1) 多量 ↕ ［　　］

(2) 点火 ↕ ［　　］

(3) 洋式 ↕ ［　　］

(4) 賛成（さんせい） ↕ ［　　］

3 次の文の――線部の対義語を、あとの文の［　］に入れて、二つの文が反対の意味を表すようにしなさい。

(1)
ぼくの家は不便な場所にある。
ぼくの家は［　　］な場所にある。

(2)
かれの考えを聞いて安心した。
かれの考えを聞いて［　　］になった。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4 次の各組の熟語の中から対義語を一組ずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) ア 有害　イ 公害　ウ 利害　エ 無害　［　］・［　］

(2) ア 運行　イ 幸運　ウ 不運　エ 運命　［　］・［　］

(3) ア 悪天　イ 気候　ウ 好天　エ 陽気　［　］・［　］

(4) ア 通信　イ 音信　ウ 発信　エ 受信　［　］・［　］

---

5 次のことばの対義語をそれぞれ漢字で書きなさい。

(1) 失敗 ↕ ［　　］

(2) 登校 ↕ ［　　］

(3) 赤字 ↕ ［　　］

(4) 姉妹（しまい） ↕ ［　　］

6 対義語の組み合わせとなるように、［　］にあてはまる漢字を書きなさい。

(1) 不満 ↕ 満［　］

(2) 共感 ↕ ［　］感

(3) 自動 ↕ ［　］動

(4) 消火 ↕ ［　］火

(5) 本番 ↕ ［　］習

(6) 戦争 ↕ ［　］和

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十講・熟語の組み立て

熟語…二字以上の漢字からできていることばを熟語といいます。

二字熟語の組み立て…二字熟語の組み立てには、次のようなものがあります。

① 同じ漢字を重ねたもの
② にた意味の漢字を重ねたもの
③ 反対の意味の漢字を重ねたもの
④ 上が主語、下が述語の関係になるもの
⑤ 上の字が下の字をかざっているもの
⑥ 下の字が上の字の動作の目的や対象を表すもの
⑦ 上に打ち消しの字がついたもの
⑧ 下に「化・然・性・的」などがついたもの
⑨ 長い熟語を省略したもの

三字熟語の組み立て…三字熟語の組み立てには、次のようなものがあります。

① □+□+□　例　大中小
② □□+□　例　運動場
③ □+□□　例　砂時計

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1 にた意味の漢字を重ねた熟語となるように、次の□にあてはまる漢字を書き入れなさい。

(1) 道□　(2) □始　(3) 森□

2 反対の意味の漢字を重ねた熟語となるように、次の□にあてはまる漢字を書き入れなさい。

(1) 天□　(2) □私　(3) 明□

3 次の二字熟語の組み立てを、あとの①～⑨から選（えら）び、それぞれ番号で答えなさい。

(1) 不動□　(2) 乗車□
(3) 短刀□　(4) 国立□
(5) 悪化□　(6) 民放□

① 同じ漢字を重ねたもの
② にた意味の漢字を重ねたもの
③ 反対の意味の漢字を重ねたもの
④ 上が主語、下が述語の関係になるもの
⑤ 上の字が下の字をかざっているもの
⑥ 下の字が上の字の動作の目的や対象を表すもの
⑦ 上に打ち消しの字がついたもの
⑧ 下に「化・然・性・的」などがついたもの
⑨ 長い熟語を省略したもの

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4 次の三字熟語の組み立てをあとの①〜③から選び、それぞれ番号で答えなさい。

(1) 発明家 □
(2) 紙風船 □
(3) 年月日 □
(4) 食事中 □

① □＋□＋□ 例 大中小
② □□＋□ 例 運動場
③ □＋□□ 例 砂時計

---

5 次の熟語の組み立てとしてよいものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) 外国 □
(2) 多少 □
(3) 苦楽 □
(4) 読書 □
(5) 行進 □
(6) 消火 □

ア にた意味の漢字を組み合わせたもの
イ 対(つい)になる意味の漢字を組み合わせたもの
ウ 上の漢字が下の漢字を説明(せつめい)しているもの
エ 下から上に返って読むもの

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

6 次の(1)〜(5)の熟語と同じ組み立てのものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) 強風 □
(2) 永久 □
(3) 自他 □
(4) 無知 □
(5) 着席 □

ア 未来　**イ** 賛否（さんぴ）　**ウ** 登校
エ 青空　**オ** 消失

---

7 次の三字熟語の組み立てをあとの①〜③から選び、それぞれ番号で答えなさい。

(1) 大自然 □
(2) 建築物 □
(3) 共通性 □
(4) 松竹梅 □
(5) 初対面 □
(6) 衣食住 □

① □＋□＋□
② □□＋□
③ □＋□□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十一講・国語辞典・漢和辞典の使い方

◆国語辞典の使い方

国語辞典は、ことばの意味や使い方、漢字でどう書くかわからないときに使います。

(1) 国語辞典では、ことばは五十音順（あいうえお順）にならんでいます。一字目も二字目からあとも五十音順にならんでいます。

「けんがく（見学）」ということばの引き方

初めに「けんがく」の「け」をさがす。次に、二字目の「ん」、続けて三字目の「が」、四字目の「く」をさがす。

(2) 濁音（「が・ぎ・ぐ・げ・ご」など）は、清音（「か・き・く・け・こ」など）のあとにならんでいます。

「かんけい（関係）」→「かんげい（歓迎）」

「いし（意志）」→「いじ（意地）」

(3) 半濁音（「ぱ・ぴ・ぷ・ぺ・ぽ」）は、濁音（「ば・び・ぶ・べ・ぼ」）のあとにならんでいます。

「きんべん（勤勉）」→「きんぺん（近辺）」

「はつびょう（発病）」→「はっぴょう（発表）」

(4) 「コーヒー」のように長くのばす音は、「コオヒイ」と読むものとしてならんでいます。

「セーター」→「セエタア」

(5) 終わりの部分が変化することばは、言い切りの形で引きます。

「走って」→「走る」

「早く」→「早い」

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1　次の――線部のことばを国語辞典で引こうと思います。それぞれ言い切りの形に直しなさい。

(1) 制服（せいふく）を新しく作り直す。

(2) 次の打席ではホームランを打とう。

(3) ひとばんで夏休みの宿題をしあげた。

(4) あなたさえよければそれで結構（けっこう）です。

(5) 少し休んでいきましょう。

2　次のことばは、国語辞典ではどんな順にならんでいますか。早く出てくる順に、記号で答えなさい。

(1)
ア　しんゆう
イ　じんじゃ
ウ　しんしゅつ

(2)
ア　コーチ
イ　こづつみ
ウ　コップ

(3)
ア　当分
イ　動物
ウ　当番

(1) □→□→□

(2) □→□→□

(3) □→□→□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3 次のことばは、国語辞典に出てくる順にならべたものですが、「パンダ」ということばを国語辞典で引くと、どのことばのあとに出てきますか。記号で答えなさい。

ア 反そく　**イ** はんだ
ウ ハンター　**エ** 反対

（　　）

4 次のことばは、国語辞典ではどんな順に出ていますか。早く出てくる順に番号を書き入れなさい。

(1)
（　）強風
（　）兄弟
（　）級友
（　）教科
（　）球場

(2)
（　）花びら
（　）パイナップル
（　）場所
（　）ハーモニカ
（　）配列

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

◆漢和辞典の使い方

漢和辞典は、漢字や熟語（じゅくご）の読み方や意味がわからないときや、その漢字を使った熟語などを調べるときに使います。

漢和辞典は、部首別（べつ）に構成（こうせい）されていて、音訓（おんくん）さくいん・部首さくいん・総画（そうかく）さくいんの三つのさくいんがあります。引き方には次の三つの方法があります。

(1)　音訓さくいんで引く…音訓さくいんで、音か訓の読みによって目的（もくてき）の漢字をさがし、指定されたページを開きます。

例　待…「タイ」か「ま（つ）」で引く。

(2)　部首さくいんで引く…部首の画数を数え、部首さくいんでその画数のところを見て、その部首がのっているページを開きます。次に、部首をのぞいた部分の画数を数え、その画数のところで目的の漢字をさがします。

例　待…部首は「彳（ぎょうにんべん）」で三画。
部首以外の部分は「寺」で六画。

(3)　総画さくいんで引く…総画数を数え、総画さくいんで目的の漢字をさがします。

例　待…九画で引く。

※調べたい漢字の音か訓がわかっているときは音訓さくいんで、部首がわかっているときは部首さくいんで、読み方も部首もわからないときは総画さくいんで引きます。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1 次の漢字は、漢和辞典の音訓さくいんではどんな順にならんでいますか。早く出てくる順に、記号で答えなさい。

(1) 三字とも音読みで調べる場合

ア　配
イ　遊
ウ　乗

□→□→□

(2) 三字とも訓読みで調べる場合

ア　伝
イ　流
ウ　残

□→□→□

2 次の漢字を漢和辞典の部首さくいんを使って調べようと思います。どの部首の何画を引けばよいかを書きなさい。

例　花（艹）（４）

(1) 秋 □□
(2) 部 □□
(3) 放 □□
(4) 悪 □□
(5) 国 □□
(6) 原 □□
(7) 泳 □□
(8) 送 □□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3 次の漢字を漢和辞典の総画さくいんを使って調べようと思います。それぞれの漢字の総画数を書きなさい。

(1) 身 □

(2) 記 □

(3) 海 □

(4) 級 □

(5) 低 □

(6) 世 □

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

解答編

小学4年　国語〔応用〕

第一講　文学的文章①

一題目

問一　十一月のすえ
　　　三時ごろ　（順不同）
問二　花崎神社（のお祭り）
問三　(1)（例）落葉をかきよせたりするため。
　　　(2)　幸せやお金・おまじない
問四　イ

二題目

問一　次の日
問二　ウ
問三　ウ
問四　イ
問五　少年は
問六　ぶっきらぼう

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　文学的文章②

一題目

問一　(例)最後の回数券を使って、新しい回数券を買うと、そのぶん、母の退院の日が遠ざかってしまうと思っていたから。

問二　ウ

問三　(1)　エ

(2)　(例)少年のかわりに、バス代をはらった。

問四　ア

二題目

問一　(例)母が退院することになったから。

問二　ア

問三　(例)バスの運転手が河野さんではなかったから。

問四　通路を歩くのはバスが停まってから。

整理券は丸めてはいけない。

降りるときには早くしなければいけない。　(順不同)

問五　ウ

問六　イ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　説明的文章①

一題目

問一　植物の葉　～　ないこと

問二　ア

問三　エ

問四　そのにお　～　いう物質

二題目

問一　土のねんど

問二　A…ウ
B…エ

問三　イ

問四　(1)　水をくわ　～　まる性質

(2)　土間・レンガ・食器（別解　土器）（順不同）

問五　（例）ねんどでレンガのかたちを作ったもの。

問六　長所…（例）だれにでもかんたんに作れる。
短所…（例）こわれやすく水がもれやすい。

問七　ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　説明的文章②

一題目

問一　風のぐあい・やね

問二　(例)弥生式土器が焼かれた〈窯〉

問三　(1)　イ

(2)　生活の実用品

問四　(1)　茶や豆、　～　なくいる〈とき〉

もちや魚　～　がり焼く〈とき〉　(順不同)

(2)　われやすくてあつかいにくいせい

問五　④　カ

⑤　ウ

問六　プラスチック・アルミニウム・鉄

二題目

問一　五〈種類〉

問二　素焼きの土器

問三　(例)農具と武器

問四　(1)　ヒエやアワ、米など

(2)　日本をふくむ東アジア地域〈の人々〉

(3)　これは、ア

問五　(例)ドングリのアクをぬく〈方法〉

問六　ドングリ・貝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　文学的文章③

一題目

問一　イ
問二　ウ
問三　ものも言わずにとって食べた。

二題目

問一　あぶない・だめ
問二　ウ
問三　イ
問四　エ
問五　考えこみながら車を運転していた〔様子〕
問六　友だち・考えて
問七　ア

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講　文学的文章④

一題目

問一　五（人）
問二　すわる・板・ゴイサギの巣
問三　ウ
問四　エ
問五　(1)　浅いところ・うきわ
　　　(2)　深いほう
問六　イ
問七　イ

二題目

問一　びり・同点優勝
問二　ドボンと落ちこんだ
問三　ウ
問四　④　五年三組（の子）
　　　⑤　全校生徒
問五　エ
問六　エ

第七講　説明的文章③

一題目

問一　(1)　冬と夏の交代する季節
(2)　あたたかくなったり、寒くなったりする（様子）
(3)　およそ３～４日

問二　春の雲がか
空がかすん

問三　光合成・揮発性・太陽　（順不同）

問四　a　イ・ウ・エ
b　ア・オ・カ　（それぞれ順不同）

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第八講　説明的文章④

一題目

問一　道路・黒土・むら・光・屈折
問二　草木
問三　(1)　中国
　　　(2)　黄色ににごって見える
問四　エ
問五　イ

二題目

問一　亜熱帯から温帯
問二　6～7
問三　イ
問四　(1)　太陽高度・季節風・気団
　　　(2)　青空（別解　晴天）・１年中の雨の大部分
　　　(3)　乾期と雨期のちがい
問五　(1)　3～7
　　　(2)　8～13
問六　ウ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第九講　文学的文章⑤

一題目

問一　イ

問二　イ

問三　ウ

問四　残念でたまらなかった

二題目

問一　エ

問二　ささやき声・寒い・早朝練習

問三　エ

問四　(例)女子は早朝練習ができなくなり、男子ももめごとで練習できなくなったから。

問五　ア

問六　わたしした　～　走った。

問七　イ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十講　文学的文章⑥

一題目

問一　クラスじゅうの男子・歌の練習
問二　ウ
問三　イ
問四　ア
問五　エ
問六　エ

二題目

問一　ウ
問二　ア
問三　黄色いタ　～　ている。
問四　うす暗い教室・蛍光塗料・手づくり・エ
問五　ア

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十一講　説明的文章⑤

一題目

問一　おりものを作るのに必要なもの

問二　(1)（例）特産のオリーブの実からとれるあぶらと、海草を焼いた灰

(2)（例）やわらかい

(3)（例）いやなにおいがしない

問三　生石灰・灰・水・あく

問四　イ

問五　(1) 16世紀

(2) 8世紀

(3) 12世紀

問六　〈第二段落〉一方、南

〈第三段落〉16世紀に

〈第四段落〉さて、17

問七　エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講　説明的文章⑥

一題目

問一　たらい・ひしゃく・手おけ・伸子・きぬた　（順不同）
問二　ウ
問三　麻・つる・ゴワゴワ
問四　（例）もみあらいやふりあらい
問五　もっとも古い・7世紀・井戸・道具・江戸
問六　ア

二題目

問一　〈上着につくもの〉（例）食事の食べこぼし、絵の具、ほこり、ふけ、土、どろ、ジュース、インク、紅茶など
〈下着につくもの〉（例）からだからでるあせやあぶら、あか
問二　イ
問三　あぶら
問四　（例）水があぶらとまじり合い、広がる。
問五　ウ
問六　よごれ・水・洗剤
問七　エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十三講　文学的文章⑦

一題目

問一　イ

問二　エ

問三　ア

問四　ウ

問五　（例）ローズマリーは子育てが上手ではなく、これまで出産した子は死んでいるから。

問六　人に捕ら　～　練をする

問七　ウ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十四講　文学的文章⑧

一題目

問一　A…エ
　　　B…イ
　　　C…オ
問二　すぐに役にたつ姿を見せてくれているから
問三　バナナの皮
問四　ウ
問五　実用
問六　ア
問七　どうぞ
問八　精神的に必要なもの
問九　エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十五講　詩

一題目

問一　三（連）
問二　（例）いつもねそべっていられるところ。
（例）いつも空をながめていられるところ。
（例）いつも雲とはなしていられるところ。（順不同）
問三　水たまりって　いいな
問四　ウ・オ・カ　（順不同）
問五　ウ

二題目

問一　のびる
問二　（例）三角剣のようにとがっている様子。
問三　水
問四　ア
問五　氷の三角剣
問六　グサリとさ　～　待っている

三題目

問一　てらわない美しい疑問符のかたち
問二　イ
問三　ア
問四　ア

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十六講　文の組み立て

【主語・述語・修飾語】

1
(1) (主語)月が　(述語)きれいだ　(修飾語)とても
(2) (主語)ひよこが　(述語)鳴いた　(修飾語)ピヨピヨ
(3) (主語)姉は　(述語)中学生だ　(修飾語)わたしの
(4) (主語)ケーキは　(述語)おいしいね　(修飾語)この

2
(1) ノートに
(2) 交差点を
(3) つった
(4) 上がった
(5) 泳いだ

【文の基本の型】

1
(1) ア
(2) ウ
(3) イ
(4) エ
(5) イ
(6) ウ
(7) ア
(8) エ
(9) ア

2
(1) ①型…ウ　②(主語)兄は　(述語)選手だ
(2) ①型…ア　②(主語)風も　(述語)ふきつけた
(3) ①型…ア　②(主語)かおりが　(述語)ただよう
(4) ①型…イ　②(主語)物語は　(述語)おもしろかった
(5) ①型…エ　②(主語)本が　(述語)ない
(6) ①型…ウ　②(主語)好物は　(述語)魚料理だ
(7) ①型…イ　②(主語)流れが　(述語)ゆるやかだ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十七講　ことば

【慣用句】

1
(1) オ
(2) ア
(3) イ
(4) ウ
(5) エ

2
(1) 歯
(2) 耳
(3) 手
(4) 顔
(5) 口

3
〈手〉ア・ウ・オ・ク・ケ・サ
〈足〉イ・エ・カ・キ・コ
（それぞれ順不同）

【ことばの意味と使い方】

1
(1) イ
(2) ア
(3) ア
(4) イ

2
(1) ① イ　② ア　③ ウ
(2) ① イ　② ウ　③ ア

3
(1) イ
(2) ア
(3) イ

4
(1) エ
(2) ア
(3) イ
(4) オ
(5) ウ

(4) ア
(5) ウ
(6) ウ
(7) エ
(8) イ
(9) ア

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十八講　漢字

【同訓異字】

1

(1) ①帰　②返
(2) ①代　②変
(3) ①放　②話
(4) ①早　②速
(5) ①空　②開　③明

2

(1) ①付　②着
(2) ①会　②合
(3) ①上　②挙
(4) ①産　②生
(5) ①指　②差
(6) ①明　②開
(7) ①計　②量
(8) ①直　②治

【同音異義語】

1

(1) ア
(2) ア
(3) イ
(4) ア

2

(1) ①事典　②辞典
(2) ①意外　②以外
(3) ①回転　②開店
(4) ①進行　②親交

3

(1) ①イ　②ア
(2) ①ウ　②ア
(3) ①ウ　②ア
(4) ①イ　②ア
(5) ①ウ　②イ
(6) ①ウ　②ア

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十九講　類義語　対義語

【類義語】

1
(1) イ
(2) ア
(3) ウ

2
(1) 発見
(2) 的中
(3) 公平
(4) 書面
(5) 親切
(6) 案外

3
(1) ア
(2) イ
(3) ウ
(4) ア
(5) イ

4
(1) 国（別解　地）
(2) 正
(3) 事
(4) 安
(5) 昼
(6) 親

【対義語】

1
(1) イ
(2) ウ
(3) イ
(4) ア

2
(1) 少量
(2) 消火
(3) 和式
(4) 反対

3
(1) 便利
(2) 不安（別解　心配）

4
(1) ア・エ
(2) イ・ウ
(3) ア・ウ
(4) ウ・エ　（それぞれ順不同）

5
(1) 成功
(2) 下校
(3) 黒字
(4) 兄弟

6
(1) 足
(2) 反
(3) 手
(4) 点（別解　着）
(5) 練
(6) 平

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十講　熟語の組み立て

1
(1) 路
(2) 開
(3) 林

2
(1) 地
(2) 公
(3) 暗

3
(1) ⑦
(2) ⑥
(3) ⑤
(4) ④
(5) ⑧
(6) ⑨

4
(1) ②
(2) ③
(3) ①
(4) ②

5
(1) ウ
(2) イ
(3) イ
(4) エ
(5) ア
(6) エ

6
(1) エ
(2) オ
(3) イ
(4) ア
(5) ウ

7
(1) ③
(2) ②
(3) ②
(4) ①
(5) ③
(6) ①

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十一講　国語辞典・漢和辞典の使い方

【国語辞典の使い方】

1
(1) 新しい
(2) 打つ
(3) しあげる
(4) よい
(5) 休む

2
(1) イ→ウ→ア
(2) ア→イ→ウ
(3) ウ→イ→ア

3
イ

4
（右から順（じゅん）に）
(1) 5・4・2・3・1
(2) 5・2・4・1・3

【漢和辞典の使い方】

1
(1) ウ→ア→イ
(2) ア→イ→ウ

2
(1) 禾・4
(2) 阝・8
(3) 攵・4
(4) ⺗・7
(5) 口・5
(6) 厂・8
(7) 氵・5
(8) 辶・6

3
(1) 7
(2) 10
(3) 9
(4) 9
(5) 7
(6) 5

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。